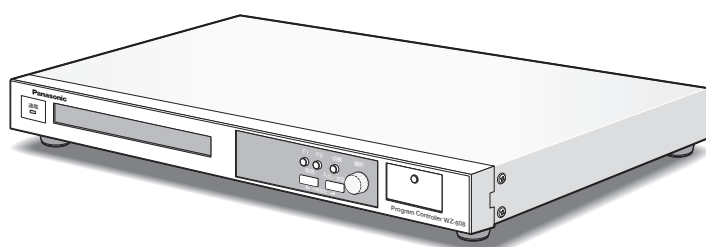


## 取扱説明書

工事説明付き

### プログラムコントローラー

品番 **WZ-608**



#### もくじ

##### はじめに

商品概要	2
免責について	2
付属品をご確認ください	3
用語について	3
安全上のご注意	4
使用上のお願い	7
各部の名前と働き	8

##### 操作

操作のしかた	9
プログラムの実行と停止	9
機能キー (F1, F2) の操作	11
0秒合せ	13

##### プログラミング

プログラミング作業の手順	14
プログラミングチャートの作成	15
メニュー画面の構成	16
1. 設定メニュー	17
2. プログラムメニュー	23
3. テストメニュー	40

##### 工事説明

設置上のご注意	43
各部の名前と働き	44
ラックへの取り付けかた	45
接続のしかた	46

##### その他

故障かな!?	54
各種のエラー表示	56
仕様	58
プログラミングチャート	59
保証とアフターサービス	61

はじめに

操作

プログラミング

工事説明

その他

#### 保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(4~6ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

# はじめに

## 商品概要

本機は公共施設、店舗、職場などで館内放送サービスを制御するための装置です。始業、休憩時間や終業の合図となる音楽をあらかじめプログラムした曜日の指定時刻に演奏させることができます。

- 各曜日に割り当てた7日分のプログラムを書き込みます。プログラム総数は4000ステップです。
- 1週間の繰り返し以外のプログラムは2つの機能キーに割り当てておき、ワンタッチで実行できます。例えばある曜日を「祭日パターン」に切り換える、店舗の営業時間を延長するパターンに切り換える、特定のアナウンス放送を起動するなどの場合に便利です。
- RS-232C用コネクタはパソコンとつなぎバックアップファイルの保存などができます。またデジタルICプレーヤとつないで指定曲の演奏の起動にも使えます。
- 内部時計の時刻補正は4通りの方法から選択できます。  
FMラジオチューナーの時報音で補正/親時計につなぎ補正/電波時計などをメイク接点につなぎ補正/前面パネルからの操作での補正

## 免責について

- 弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。
  - ①本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
  - ②お客様の誤使用や不注意による損害または本商品の破損など
  - ③お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
  - ④本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、放送ができないなどで被る不便・損害・被害
  - ⑤第三者の機器等と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
  - ⑥取付方法の不備など、本商品の不良によるもの以外の事故に対する不便・損害・被害
  - ⑦登録した情報内容が何らかの原因により消失してしまうこと

## 付属品をご確認ください

取扱説明書（本書）.....1冊	電源コード（コード長約2 m）.....1本
保証書.....1式	束線バンド.....1本

## 用語について

本書で使用する用語について説明します。

- プログラム** : 本機が実行するパターンやリレープログラム、プレーヤ演奏プログラムなどのことを総称して、プログラムと呼びます。  
また、リレー用、プレーヤ演奏用、プレーヤ応答用に、1日分の制御情報を個々にまとめたものをプログラムと呼びます（リレープログラム、プレーヤ演奏プログラム、プレーヤ応答プログラム）。
- パターン** : リレープログラム、プレーヤプログラム、プレーヤ応答プログラムを、1日分としてまとめた単位を、パターンと呼びます。
- スケジュール** : 本機では、曜日ごとにパターンを設定でき、それをスケジュールと呼びます。
- ステップ** : ステップとは、プレーヤ演奏やリレーの制御単位をいいます。
- リレー** : 本機に内蔵されたメイク接点出力（8系統内蔵）のことです。外部機器とこの接点出力を接続することで、指定時間に指定外部機器をONまたはOFF制御することができます。
- プレーヤ演奏** : 本機からデジタルICプレーヤ（WZ-DP150、WZ-DP250）などに対して、RS-232C経由で制御し、指定曲を指定時間に演奏させる機能のことです。
- プレーヤ応答** : RS-232Cで接続したデジタルICプレーヤ（WZ-DP150、WZ-DP250）などの演奏状況に合わせて、本機のリレーを制御する機能です。
- リレープログラム** : 本機では、リレーを時間に合わせて動作させる1日分のステップを、リレープログラムと呼びます。
- プレーヤ演奏プログラム** : 本機では、プレーヤ演奏を時間に合わせて動作させる1日分のステップを、プレーヤ演奏プログラムと呼びます。
- プレーヤ応答プログラム** : 本機では、プレーヤ応答をパターンに入力して動作させる1日分のステップを、プレーヤ応答プログラムと呼びます。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



**警告**

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



**注意**

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## 警告

### 工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。

- 必ず販売店に依頼してください。

### 異物を入れない



禁止

水や金属が内部にはいると、火災や感電の原因になります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

### 分解しない、改造しない



分解禁止

火災や感電の原因になります。

### 異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因になります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

### 不安定な場所に置かない



禁止

落下などでけがの原因になります。

## 警告

### コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない



禁止

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

### ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



ぬれ手禁止

感電の原因になります。

### 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない)



禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

### 電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

### 電源プラグのほこりなどは定期的にとる



プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

### 電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く



コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

### 機器の上に水などの入った容器を置かない



水ぬれ禁止

水などが中に入った場合、火災や感電の原因になります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

### 取り付けねじは、しっかりとしめる



落下などで、けがの原因になります。

- 取付工事は販売店に依頼してください。

### 雷のときは工事・配線をしない



禁止

火災や感電の原因になります。

## ⚠ 注意

湿気やほこりの多い場所に設置しない



禁止

火災や感電、故障の原因になります。

リチウム電池は同一型名または同等品と交換する



異なる型の電池を使用すると、発熱、破裂、発火の原因になります。

- 交換は必ず販売店に依頼してください。

# 使用上のお願い

**⚠ 警告 ⚠ 注意** に記載されている内容とともに以下の事項をお守りください。

## 使用電源はAC100Vです

消費電力の大きな機器（コピー機、空調機器など）と同じコンセントから電源をとらないでください。また、水滴または水沫のかからない状態で使用してください。

## 使用温度範囲は0℃～+45℃です

この温度範囲以外で使用すると内部の部品に悪影響を与えたり、誤動作の原因となることがあります。

## 内蔵バックアップ電池には寿命があります

本機には停電対応のため電池が内蔵されています。電池の寿命は約5年です。液晶画面に「バックアップ バッテリー コウカン シテクダサイ」と表示されましたら、早めに販売店に交換を依頼してください。電池交換は専門技術が必要です。

## 電源について

本機は電源スイッチはありません。本機を電源から遮断するときは電源コードを抜いてください。設置条件により容易に電源コードを外せないときは、本機の電源コードを遮断能力のある分電盤のサーキットブレーカーを経由したACコンセントまたは電源制御ユニットWU-L62などのコンセントに接続してください。

## 屋内でのみ使用してください

- 長時間直射日光のあたるところや、冷・暖房機の近くには設置しないでください。変形・変色または故障・誤動作の原因になります。
- 本機を水滴のかかる場所には置かないでください。
- 本機の上や周囲には花瓶など水の入った容器を置かないでください。

## 結露について

結露は、故障の原因になりますので注意してください。以下のようなときに結露が発生しやすくなります。

- 湿度が高いとき
- 冷たい場所から、温度や湿度の高い場所に移動したとき

結露が発生した場合は、1～2時間程度放置して、結露がなくなったことを確認してから電源を入れてください。

## 時刻補正について

- 時刻補正のため音声入力に接続したFMラジオチューナーはNHK-FMに正しく同調させてください。また出力ボリュームがあるときは最大にし、受信モード(MONO-STEREO)はMONOにしてください。
- 時刻補正の親時計は30秒式のものをお使いください。本機は1秒式親時計では時刻補正ができません。
- 接点接続による時刻補正のための時計は、07:00、13:00、19:00にメイク接点を出力するものをお使いください。また、上記以外の時間にもメイク接点を出力する時計の場合、30秒以上の間隔でメイク接点を出力するものをお使いください。詳しくは50ページをお読みください。

## 長時間使用しない場合は

- 長期間電源を遮断したあと再び使用を開始するときは、手動操作で内部時計の時刻を合わせてください。内部時計の誤差は月差±5秒ですが、電源遮断中に誤差が累積して時刻自動補正の範囲を超えている可能性があります。手動による内部時計合わせの操作は17ページ内部時計の設定をお読みください。
- 内蔵バックアップ電池による入力された設定やプログラムのバックアップは、約5年が目安です。以降は経年変化や使用条件によりバックアップの期間は短くなります。

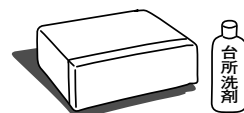
## お手入れは

お手入れは電源を遮断し、行ってください。けがの原因になります。

ベンジン・シンナーなど揮発性のものをかけたり、使用したりしないでください。ケースが変色することがあります。化学ぞうきんを使用の際は、その注意書きに従ってください。

## 汚れがひどいときは

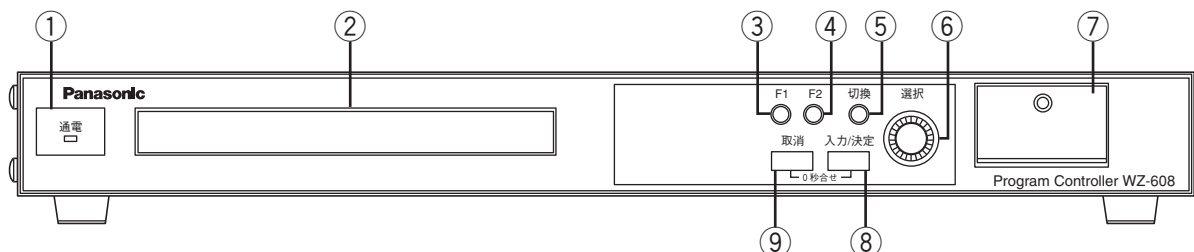
水で薄めた台所用洗剤（中性）を柔らかい布にしみこませ、固く絞ってから軽くふいてください。そのあと、乾いた柔らかい布で、洗剤成分を完全にふき取ってください。



ベンジン  
シンナー  
殺虫剤

# 各部の名前と働き

## [前面パネル]



### ① 通電表示灯（緑）【通電】

電源が供給されているときに点灯します。

### ② 液晶表示部

右図にあるように液晶には時計表示画面、メインメニューや設定メニューなど各種のメニュー画面、確認画面などが表示されます。

### ③ 機能キー【F1】

周期的でないパターン（例えば祭日用のプログラム）をこのキーに割り当てておき、ワンタッチで平日パターンから切り換える場合に使います。その他特定のプレーヤの曲を演奏させる割り当てもできます。（操作方法・・・11ページ、割り当て方法・・・35ページ）

### ④ 機能キー【F2】

働きは【F1】と同じです。

### ⑤ 切換キー【切換】

プログラムの実行/停止をするときに操作します。

### ⑥ 選択ダイヤル【選択】

主にプログラミングのときに操作します。ダイヤルを回転して液晶画面上のカーソルを左右に移動します。もう一つの働きとしてカーソルが固定された状態でパラメーターをスクロールして希望の値を得ることができます。

### ⑦ RS-232C用コネクタ

ねじをゆるめてふたを開けます。パソコンをつなぎプログラム内容のダウンロード（本機からパソコンへ）、アップロード（パソコンから本機へ）を行います。

### ⑧ 入力/決定キー【入力/決定】

下位メニューを選択するとき、カーソルがある項目の表示中のパラメーターを入力するときこのキーを押します。

### ⑨ 取り消しキー【取消】

上位メニューに戻るとき、直前に行った操作を取り消すときこのキーを押します。

【入力/決定】キーと【取消】キーで内蔵時計の0秒合わせができます。（操作方法・・・13ページ）

#### 時計表示

2009/03/01 Sun 10:56:55

#### 時計表示（プログラム実行中）

2009/02/12 Thu 15:20:57  
ジッコウチュウ: パターン A

#### メインメニュー

メインメニュー  
1.セッテイ 2.プログラム 3.テスト

#### 設定メニュー

1.セッテイ メニュー  
1.ナイトキー 2.D16ジッコウホイ 3.ジコウレベル 4.LCD

#### 確認画面

リレー1 アンフ (5F707) ]  
OK?



# 操作のしかた

## プログラムの実行と停止

### プログラムを実行する

#### 1. 時計画面

電源を入れたときや、プログラムを実行していないとき（時計画面）が表示されます。

[切換] キーを押します。

（実行確認画面）が表示されます。

#### 2. プログラムを実行するとき

[入力/決定] キーを押します。プログラムが実行されて、（実行中画面）が表示されます。画面の下段には「実行中：パターン名（例ではパターンA）」が表示されます。

#### 3. 実行しないとき

（実行確認画面）表示中に [取消] キーを押すと時計表示に戻ります。

### プログラムを停止する

#### 1. 実行中表示

プログラム実行中に [切換] キーを押します。

（停止確認画面）が表示されます。

#### 2. プログラムを停止するとき

プログラムを停止するとき [入力/決定] キーを押します。プログラムが停止して、時計画面が表示されます。

#### 3. 停止しないとき

確認画面表示中に [取消] キーを押すとプログラムの実行を続けます。

#### 時計画面

2009/02/12 Thu 15:20:57

#### 実行確認画面

プログラムヲジツクシマスカ？

OK

#### 実行中画面

2009/02/12 Thu 15:20:57

ジツクチュウ: パターン A

#### 実行中画面

2009/02/12 Thu 15:20:57

ジツクチュウ: パターン A

#### 停止確認画面

プログラムヲテイシシマスカ？

OK

#### 時計画面

2009/02/12 Thu 15:20:57

#### 時計画面（キーロック状態）

L

2009/02/09 Mon 03:18:24

#### メモ

- 時計画面の左端に「L」が表示されているときは、キーロック（キー操作無効）になっています。次ページにある方法でロックを解除してからプログラムの実行と停止を操作してください。

# 操作のしかた（つづき）

## プログラム実行中の表示

- **正常なとき**  
プログラムが正常に実行されているとき（実行中画面）が表示されます。
- **エラーメッセージ（設定パターンなし）**  
曜日にパターンが設定されていないとき表示されます。  
[切換] キーを押すと停止確認画面が表示されます。
- **停止確認画面**  
曜日のスケジュールにパターンを設定するときは、  
[入力/決定] キーを押してプログラムの実行を停止します。  
スケジュール（34ページ）でパターンを設定してください。  
そのままプログラムの実行を続けるときは [取消] キーを押します。
- **エラーメッセージ（入力プログラムにエラー）**  
各ステップ設定時刻の重複や前後関係の矛盾、プレーヤの指定事項に誤りがある場合表示されます。
- **エラー箇所画面**  
[入力/決定] キーを押してエラー箇所画面を表示します。

### メモ

- 詳しくは56、57ページ「各種のエラー表示」をお読みください。

### 実行中画面

2009/02/12 Thu 15:20:57  
ジッコウチュウ: パターン A

### 設定パターンなし

2009/02/12 Thu 15:20:57  
ジッコウチュウ: \*\*\* セッテイパターンなし \*\*\*

### 停止確認画面

プログラムヲテイシシマス？  
**OK**

### プログラムエラー画面

プログラムニエラーガアリス！  
**OK**

### エラー箇所画面

ハシヨ: パターン A リー 1 ステップ 37  
ナイヨ: ジッコウケイジヨウ **OK**

## キーをロックする・解除する

前面パネルのキーが誤って押されても影響がないように、また部外者が操作できないようにするために、キーロックをかけることができます。

### ■キーをロックする

1. **[取消] キー**  
時計表示中に [取消] キーを3回押します。
2. **[選択] ダイアル**  
[選択] ダイアルを右に3クリック、左に3クリック回します。
3. **再度 [取消] キー**  
再度 [取消] キーを3回押します。画面左上にロック状態の“L”が表示されます。

### ■キーロックを解除する

キーロックの状態で、上の“キーをロックする”と同じ操作をするとロックが解除されます。画面に表示されていた“L”が消えます。

### 時計画面

2009/02/09 Mon 03:18:24

### 時計画面（キーロック状態）

L 2009/02/09 Mon 03:18:24

### メモ

- 上記操作で、キーがロック・解除されないときは、一旦操作を中止して、[選択] ダイアルを右に4クリック以上回してから（または左に4クリック以上回してから）、操作を最初からやりなおしてください。
- 前面パネルの機能キー、後面パネルに接続するダイレクトキー（現地制作）、および前面パネルからの0秒合せ操作にはキーロック（操作を無視する機能）をすることができません。  
必要に応じて、スイッチプロテクターなどで機械的な保護をしてください。

# 機能キー（F1,F2）の操作

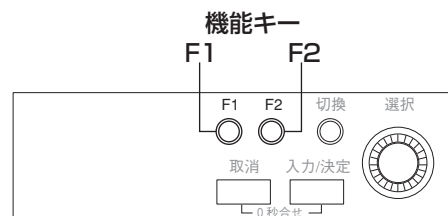
「周期的に繰り返さないプログラム」は前面パネルの機能キー（F1,F2）にあらかじめ割り当てることができます。ここでは割り当てたプログラムの操作方法と働きを説明します。割り当ての方法は35ページ機能キー（F1,F2）の設定をお読みください。

## 操作の方法

プログラム実行中に機能キー（F1またはF2）を押します。

## 働き

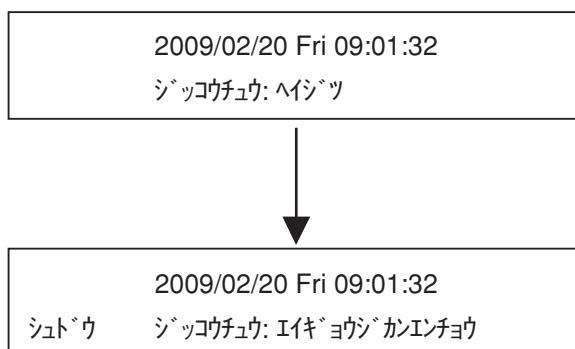
割り当てられたプログラムによって次のように動作します。



### ■実行パターンを切り換える

平日パターン実行中に、F1に割り当てられた営業時間延長パターンを実行する例です。

1. その日の正午に時間延長することを決め、F1キーを押します。それまで実行されていた平日パターンは停止され、代わって時間延長パターンが実行されます。プログラムの実行中に機能キーが押されると、画面左下に「シュドウ」と表示されます。
2. 平日の閉店時刻午後7：00に「蛍の光」は放送されずに通常のBGMが継続されます。
3. 延長パターンの閉店時刻午後9：00に「蛍の光」が放送されます。
4. 時間延長パターンが翌日のパターンに切り替わると画面の「シュドウ」表示は消えます。



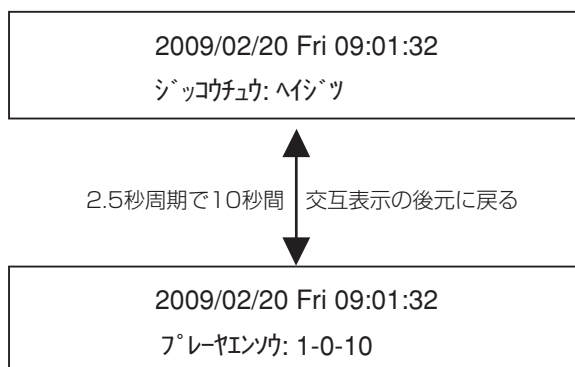
操作

### メモ

- 切り換えた実行パターンをやめるには、9ページの「プログラムを停止する→プログラムを実行する」の順に操作します。元のプログラム実行に戻ります。

### ■デジタルICプレーヤ1曲を演奏をする

1. 機能キーが押されると指定された曲が演奏を開始します。プログラム実行中に機能キーが押されたとき、表示画面は10秒間交互表示して元に戻ります。
2. その曲が終了するとデジタルICプレーヤ自身で演奏を停止します。



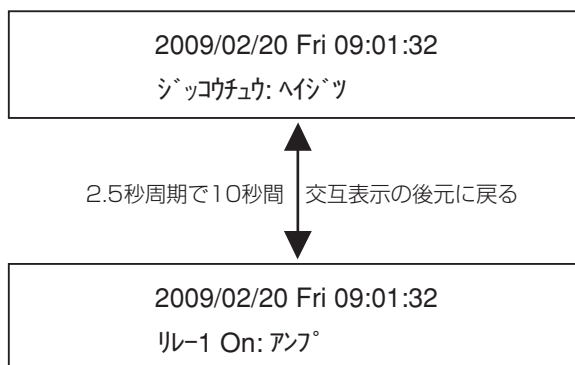
# 操作のしかた (つづき)

## メモ

- プログラムコントローラーから演奏の停止は制御できません。一旦演奏を開始したあとはその曲の終了でデジタルICプレーヤ自身が演奏を停止します。
- 機能キーで起動した曲の演奏中にその日のパターンが別の曲を起動する時刻になったとき、パターンの指定が優先されます。機能キーによる曲の演奏は停止され、その日のパターンの曲が演奏されます。

## ■1つのリレーをOnする (アンプ電源を入れてマイクで放送する例)

1. 機能キーが押されるとリレー1がOnしてアンプ電源が入ります。プログラム実行中に機能キーが押されたとき、表示画面は10秒間交互表示して元に戻ります。
2. マイクロホンで放送します

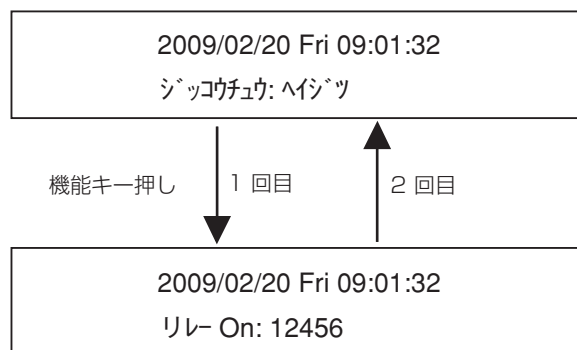


## メモ

- 機能キーの設定 (35~38ページ) でリレーのTgl (反転) を登録した場合、再度機能キーを押すとアンプ電源は切れて元の状態に戻ります。
- 機能キーとその日のパターンで制御するリレーが重なっているときは、後制御優先で動作します。

## ■複数のリレーをOnする (アンプ電源を入れてマイクで放送する例)

1. 機能キーが押されると指定されたリレーがOnします。リレー1でアンプ電源を入れ、リレー2,4,5,6で放送エリア制御をします。  
液晶画面は、1回目の機能キー押しでプログラム実行中から動作リレー番号表示に変わります。
2. マイクロホンで放送します
3. 再度機能キーを押すと元の状態に戻ります。



## メモ

- 機能キーで複数リレーを制御しているときは、機能キーが再度押されるまで、プログラムでのリレー制御は無効になります。

## メモ

- 機能キーはキーロック (操作を無視する機能) をすることができません。必要に応じて、スイッチプロテクターなどで機械的な保護をしてください。

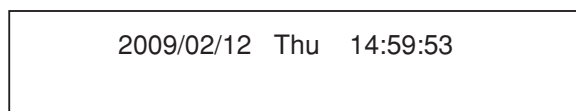
# 0秒合せ

プログラムコントローラーでは、内蔵時計の補正方法の1つとして、前面操作キーを使用した0秒合せ機能を持っています。

## 操作方法

### 1. 0秒合せ

前面操作キーの [取消] キーを押しながら、[入力/決定] キーを押します。

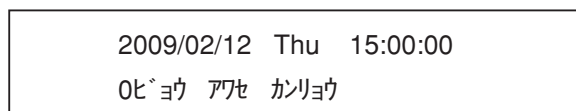


[取消] キー

[入力/決定] キー

### 2. 確認メッセージ

液晶画面の時刻表示の正時の状態になり、「0ビョウ アワセ カンリョウ」と10秒間表示されます。



操作

0秒合せができる時間帯は、液晶画面上の時計表示の毎正時±15秒です。つまり、毎時59分45秒～00分15秒の間になります。15秒以上の時刻補正を行うには、設定メニューの内部時計設定（17ページ）を行ってください。

毎正時±15秒以外で、上記操作を行っても、0秒合せは動作しません。

## メモ

- 0秒合わせは、キーロック（操作を無効にする機能）をすることができません。

# プログラミング作業の手順

プログラミングの計画から実行までを次のようなステップで行います。

---

## 1. プログラミングチャートの作成 . . . . . 15 ページ

実行するプログラムをプログラミングチャートA、プログラミングチャートBに記入します。59、60ページのチャートをコピーして使用してください。チャートAはパターン名登録表、スケジュール登録表、リレー名の他各種の設定の記入用です。チャートBには「パターン」（一日24時間単位のプログラム）を記入します。

---

## 2. 各種の設定をする . . . . . (1. 設定メニュー) . . . . . 17 ページ

内部時計や時刻補正の設定をします。

---

## 3. プログラムをパターンに入力する . . . . . (2. プログラムメニュー)

一日分のプログラムを一つのパターンとして入力します。

### ■ リレーに名前を付ける . . . . . (2-1. リレー名入力) . . . . . 23 ページ

液晶画面に「CD」、「5Fフロア」のようにわかりやすく表示させるために入力します。

### ■ パターンを入力する . . . . . (2-2. パターンメニュー) 25 ページ

パターン名、リレーの動作、プレーヤ演奏などを入力します。

---

## 4. パターンをスケジュールに入力する . . . . . (2-3. スケジュール) . . . . . 34 ページ

入力された個々のパターンを曜日に割り付ける作業（スケジュール）をします。

---

## 5. 機能キー（F1,F2）の動きを定義する . . . . . (2-4. キー応答) . . . . . 35 ページ

---

## 6. プログラムを実行する/停止する . . . . . (操作のしかた) . . . . . 9 ページ

---

## 7. テストを実行する . . . . . (3. テストメニュー) . . . . . 40 ページ

---

# プログラミングチャートの作成

プログラミングは、デジタルICプレーヤなどを何曜日の何時に動かすかを計画することです。書き込まれたプログラムが実行されると内蔵のリレーが指定曜日の指定時間にBGMの演奏をコントロールします。巻末にあるチャート用紙をコピーして記入してください。

## ●プログラミングチャートA

「パターン」は一日24時間分のプログラムセットです。7パターンまで登録できます。「スケジュール」はどのパターンをどの曜日に実行するかを割り当てることです。チャートの記入例を参考にしてください。

パターン名登録表	
(平日用、祭日用のように記入)	
パターンA [ 日曜日用 ]	
パターンB [ 平日用 ]	
パターンC [ 土曜日用 ]	
パターンD [ 祭日用 ]	
パターンE [ ]	
パターンF [ ]	
パターンG [ ]	

スケジュール登録表	
(各曜日に設定するパターン記号/名を記入)	
日曜日(Sun)	[ パターンA (日曜日用) ]
月曜日(Mon)	[ パターンB (平日用) ]
火曜日(Tue)	[ パターン実行なし (休業) ]
水曜日(Wed)	[ パターンB (平日用) ]
木曜日(Thu)	[ パターンB (平日用) ]
金曜日(Fri)	[ パターンB (平日用) ]
土曜日(Sat)	[ パターンC (土曜日用) ]

## ●プログラミングチャートB

一つのパターンの24時間分をプログラミングします。

パターン記号： A (B) C D E F G

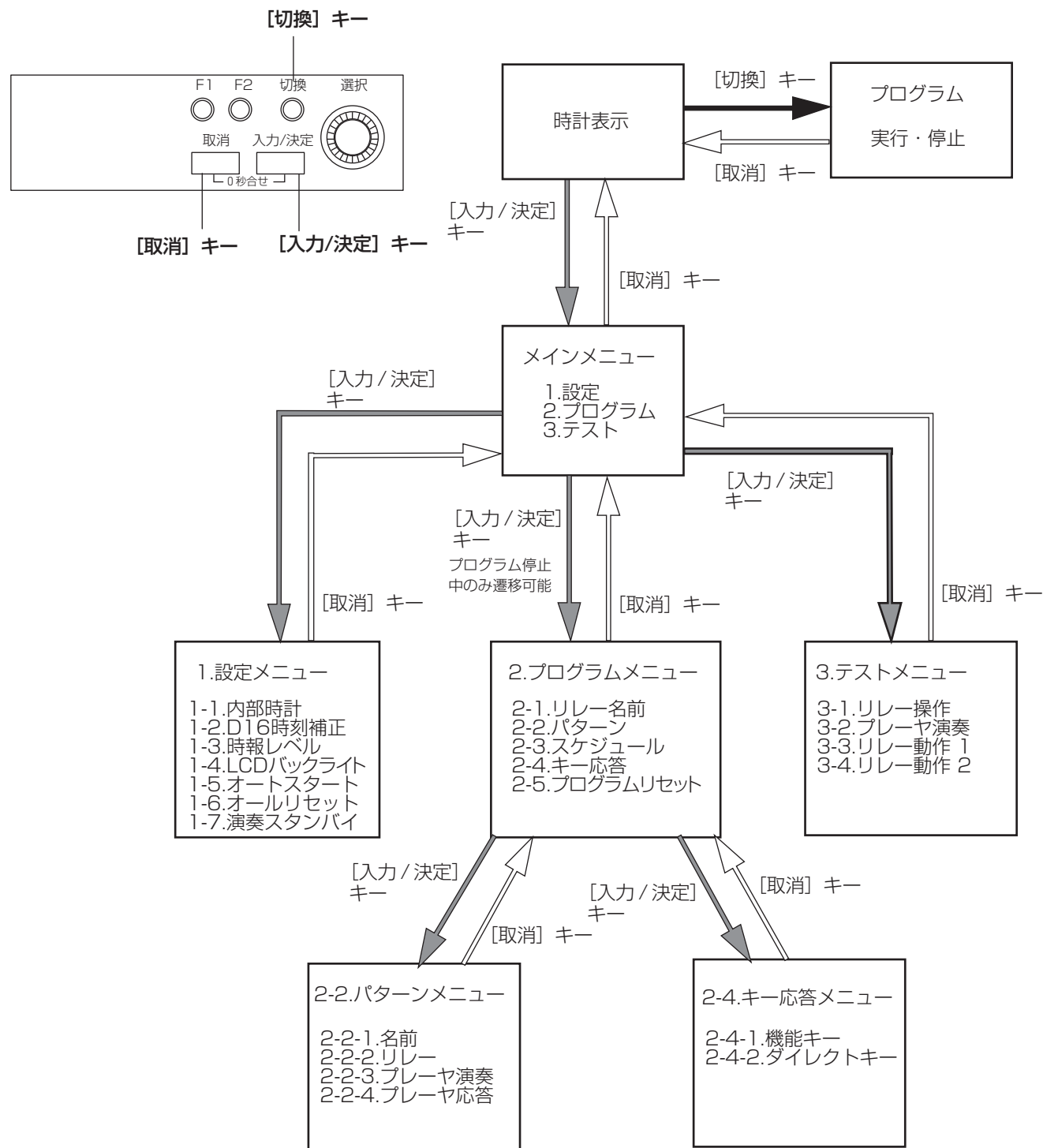
パターン名：平日用

チェック	リレー番号	プレーヤ 演奏 Dsc# - CH# - Sng# <sup>※1</sup>	開始時刻	終了時刻	備考
	1 2 3 4 5 6 7 8	1-0-01	09:55:00	(10:00:00)	開店5分前
	(1) 2 3 4 5 6 7 8	1-0-02	10:00:00	10:03:20	開店放送
	(1) 2 3 4 (5) 6 7 8	- -	10:03:20	11:59:59	店内BGM午前
	(1) 2 3 4 5 6 7 8	1-0-03	12:00:00	12:00:07	昼のお知らせ
	(1) 2 3 4 5 (6) 7 8	- -	12:00:07	14:59:59	店内BGM午後1
	(1) 2 3 4 5 6 7 8	1-0-04	15:00:00	15:00:10	3時のお知らせ
	(1) 2 3 4 5 (6) 7 8	- -	15:00:10	16:59:59	店内BGM午後2
	(1) 2 3 4 5 6 7 8	1-0-05	17:00:00	17:00:05	夕刻のお知らせ
	(1) 2 3 4 5 6 (7) 8	- -	17:00:05	18:56:59	店内BGM夕刻
	(1) 2 3 4 5 6 7 8	1-0-07	18:57:00	19:05:00	閉店放送
	1 2 3 4 5 6 7 8	1-0-08	20:00:00	20:05:00	終業案内放送

# メニュー画面の構成

下の図は液晶画面に表示されるメニューの種類とそれらメニュー間の移動を示します。

1、1-1、1-2などのメニュー番号は液晶画面の上の行に表示されます。メニュー番号は桁数が多いほど階層が深いことを示します。





# 1. 設定メニュー

## 設定メニュー

### 内部時計の設定 (1-1. ナイブドケイ)

最初に内部時計の設定をします。

- 1. 時計画面**  
電源を入れたときは時計画面が表示されます。(画面1)
- 2. メインメニュー**  
時計画面状態で [入力/決定] キーを押すとメインメニュー (画面2) が表示されます。  
メインメニューから時計画面へ戻るときは [取消] キーを押します。
- 3. 設定メニュー**  
メインメニュー表示中に、[選択] ダイアルを回してカーソルを1.セッテイ (設定メニュー) に移動して、[入力/決定] キーを押します。1.セッテイメニュー (画面3) が表示されます。
- 4. 内部時計メニュー**  
1.セッテイメニュー表示中に、[選択] ダイアルでカーソルを1.ナイブドケイに移動して [入力/決定] キーを押します。1-1.ナイブドケイ (画面4) が表示されます。
- 5. 年合わせ**  
[選択] ダイアルを回すと2009,2010,2011の様にスクロールします。希望年を表示させて [入力/決定] キーを押します。カーソルが月に移動します。(画面5)
- 6. 月日時分合わせ**  
5の操作と同様に [選択] ダイアルと [入力/決定] キーを使って順次“月”、“日”、“時”、“分”の設定を行います。曜日は内部カレンダーが管理していますので入力する必要はありません。  
(画面6,7,8)
- 7. 00秒合わせ**  
分合わせを終了すると確認画面 (画面9) が表示されます。NTTの電話サービス (117番) の時報などで分の00秒に合わせて [入力/決定] キーを押します。

#### メモ

- 設置工事の直後や長期間電源を遮断して使用を再開するときこの操作を行ってください。遮断中に内部時計の誤差が累積して自動補正範囲 (親時計±15秒、時報音±5秒、メイク接点±15秒) を越える場合があります。

画面1

2009/03/01 Sun 00:00:00
-------------------------

画面2

メインメニュー
1.セッテイ 2.プログラム 3.テスト

画面3

1.セッテイメニュー
1.ナイブドケイ 2.D16ジゴクタイ 3.ジゴクレベル 4.LCD

画面4

1-1.ナイブドケイ
2009/03/01 Sun 00:00

画面5

1-1.ナイブドケイ
2009/05/01 Fri 00:00

画面6

1-1.ナイブドケイ
2009/05/03 Sun 00:00

画面7

1-1.ナイブドケイ
2009/05/03 Sun 20:50

画面8

1-1.ナイブドケイ
2009/05/03 Sun 20:50

画面9

1-1.ナイブドケイ
2009/05/03 Sun 20:50 <b>OK</b>

# 1. 設定メニュー（つづき）

## 時刻補正について

内部時計補正の「基準となる信号」を次の4通りから電波状況や親時計の有無に合わせて選択してください。

- 1.親時計による補正（補正時刻 7:00, 13:00, 19:00 補正範囲±15秒）
- 2.FMラジオチューナーからの音声による補正（補正時刻 12:00 補正範囲±5秒）
- 3.接点からのメイク信号による補正（補正時刻 7:00, 13:00, 19:00 補正範囲±15秒）
- 4.前面パネルからの操作による補正（補正時刻 毎正時 補正範囲±15秒）

音声による時刻補正は、外部FMラジオチューナーからの時報（ピ、ピ、ピ、ポーン）の880Hz音で行われます。この音はNHK FMチャンネルで放送される正午の時報などに含まれています。FMが正常に受信されているかどうか自動時刻補正入力の接続（49ページ）を確認してください。また受信音声が正常に聞こえることをFMラジオチューナーにつないだスピーカーで確認してください。

## D16時刻補正（1-2.D16ジコクホセイ セッテイ）

ダイレクトキー（#1～#16）は、通常外部に設けたスイッチと接続し、スイッチによるプログラムコントローラーの制御ができます。その中で、ダイレクトキー#16だけ、電波時計などのメイク接点による時刻補正にも使用できます。本設定で、ダイレクトキーとして使用するのか、時刻補正として使用するかを設定します。（初期設定は「ダイレクトキー」に設定されています）

### 1. 設定メニュー

[選択] ダイヤルで2.D16ジコクホセイにカーソルを置きます（画面10）。[入力/決定] キーを押すと（画面11）が表示されます。

### 2. 機能の設定

[選択] ダイヤルで設定する機能を表示させます。そして [入力/決定] キーを押します。

ダイレクトキー：#1～#15と同じように、ダイレクトキーとして使用するときに設定します。（画面11）

ジコクホセイ：電波時計など#16につないでメイク接点による時刻補正をするときに設定します。（画面12）

### 3. 確認画面

確認画面（画面13）で希望の設定であれば [入力/決定] キーを押します。設定メニュー（画面10）に戻ります。

変更するときは [取消] キーを押してもう一度設定を行います。

画面10

1.セッテイ メニュー  
1.ナイトブレイク 2.D16ジコクホセイ 3.ジコクホセイレベル 4.LCD

画面11

1-2. D16ジコクホセイ セッテイ  
D16ジコクホセイ:ダイレクトキー

画面12

1-2. D16ジコクホセイ セッテイ  
D16ジコクホセイ:ジコクホセイ

画面13

1-2. D16ジコクホセイ OK?  
D16ジコクホセイ:ジコクホセイ

## メモ

- 本設定で「ジコクホセイ」を設定すると「2-4-2.ダイレクトキー」のダイレクトキー#16の設定は無効になります。ご注意ください。

## 時報レベルの設定（1-3.ジホウレベル）

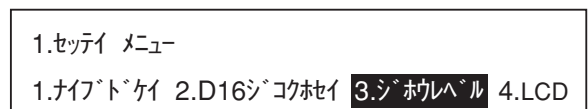
この設定は、FM放送の880Hzを対象にしています。880Hzの音は通常の放送にも含まれていますが、時報では特に純粋で大きな成分になっています。この性質を利用して「しきい値」は「ある値を超える880Hzが来たら時報だ」と判断をするための基準となります。

画面でアスタリスク\*は放送波に含まれる880Hz成分の変化をバーグラフのように表示します。■はしきい値を越えた880Hz成分の大きさを示します。しきい値は「時報放送で」「■が4個」「1秒以上表示される」を目安に設定してください。初期設定は「0030」に設定されていますが「0020」～「1023」の範囲で調整できます。

### 1. 設定メニュー

[選択] ダイアルで3.ジホウレベルにカーソルを置き（画面14）[入力/決定] キーを押します。（画面15）が表示されます。

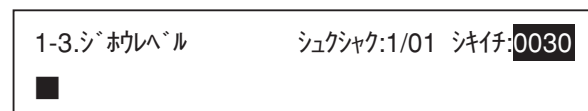
画面14



### 2. しきい値と受信880Hzの比較

[選択] ダイアルを回してしきい値を増減させます。（画面16）では上段のシキイチが0020に減少しています。受信信号がないためバーグラフ表示はありません。

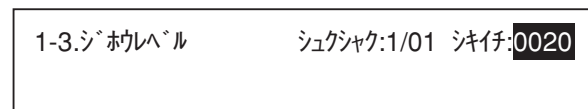
画面15



### 3. しきい値の設定

[選択] ダイアルを回してしきい値を適切な位置に設定します。時報放送のとき（画面17）のように「■が4個」「1秒以上表示される」設定にしてください。

画面16



### 4. 縮尺の設定

受信信号が大きすぎて\*アスタリスクがオーバーフローするとき次の操作をします。

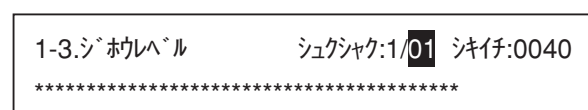
4-1 [切換] キーを押してカーソルをシクシヤク：1/01に移動します。（画面18）

画面17



4-2 [選択] ダイアルで適切な縮尺にします。（画面19）

画面18

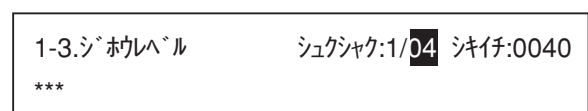


4-3 [切換] キーを押してカーソルをしきい値に戻します。

### 5. 確認画面

[入力/決定] キーを押します。確認画面（画面20）が表示されます。設定内容が良ければ[入力/決定] キーを押します。設定内容が保存され画面14に戻ります。

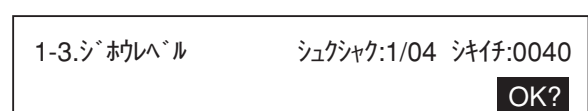
画面19



### 6. しきい値の再設定

変更するときは[取消] キーを押してもう一度設定をします。

画面20



### 7. 時計表示に戻る

画面14で[取消] キーを2回押すと通常表示に戻ります。

## メモ

- 時報音ピッピッピッポーンの「ポーン」が聞こえる間、■■■■■が点灯するように設定してください。

# 1. 設定メニュー（つづき）

## LCD（液晶画面）バックライト（1-4.LCDバックライトセッテイ）

液晶の照明方法を次の3種類から選択します。初期設定は「点灯」になっています。

1. 点灯
2. 消灯
3. キー連動

キー連動は消灯状態のとき前面パネルで何かのキーが押されると点灯し、最後のキー操作から設定された時間（秒）のあと消灯します。キー連動の設定範囲は1秒から99秒です。

### 1. 設定メニュー

[選択] ダイアルで4.LCDバックライトにカーソルを置きます（画面21）。[入力/決定] キーを押すと1-4.LCDバックライトセッテイ（画面22）が表示されます。

### 2. 設定

[選択] ダイアルを回して点灯（画面22）、消灯（画面23）、キー連動（画面24）の中から希望の項目を表示させ [入力/決定] キーを押します。

### 3. キー連動時間設定

キー連動のとき（画面24）が表示されます。[入力/決定] キーを押して（画面25）にします。[選択] ダイアルで希望の秒数を表示させます。最大99秒まで設定できます（画面26）。[入力/決定] キーを押します。

### 4. 確認画面

確認画面が表示されます。設定内容が良ければ [入力/決定] キーを押します。設定内容が保存され画面21に戻ります。変更するときは [取消] キーを押してもう一度設定をします。

### 5. 時計表示に戻る

画面21で [取消] キーを2回押すと時計表示に戻ります。

画面21

1.セッテイ メニュー  
キー 2.D16ジコホセイ 3.ジコホレベル 4.LCD バックライト

画面22

1-4.LCD バックライトセッテイ  
バックライト:点灯

画面23

1-4.LCD バックライトセッテイ  
バックライト:消灯

画面24

1-4.LCD バックライトセッテイ  
バックライト:キー連動 01 秒

画面25

1-4.LCD バックライトセッテイ  
バックライト:キー連動 01 秒

画面26

1-4.LCD バックライトセッテイ  
バックライト:キー連動 99 秒

### 選択肢ごとの確認画面

#### 点灯のとき

1-4.LCD バックライトセッテイ  
バックライト:点灯 OK ?

#### 消灯のとき

1-4.LCD バックライトセッテイ  
バックライト:消灯 OK ?

#### キー連動のとき

1-4.LCD バックライトセッテイ  
バックライト:キー連動 99 秒 OK ?

## オートスタート（1-5.オートスタートセットイ）

毎日、夜間は電源を遮断する環境で使用される場合などには、翌朝電源投入時にプログラムの実行をどの状態にするか次の3項目から選択して設定します。初期設定は「継続」になっています。

継続：電源切断時の状態に復帰します。プログラム停止であればその状態に、プログラム実行であれば実行状態にそれぞれ復帰します。

実行：電源投入でプログラム実行状態になります。

停止：電源投入でプログラム停止状態になります。

### 1. 設定メニュー

[選択] ダイヤルで5.オートスタートにカーソルを置いて（画面27）[入力/決定] キーを押します。1-5.オートスタートセットイ（画面28）が表示されます。

### 2. 項目選択

[選択] ダイヤルを回して継続（画面28）、実行（画面29）、停止（画面30）の中から希望の項目を表示させて [入力/決定] キーを押します。

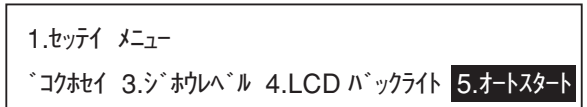
### 3. 確認画面

確認画面（画面31）が表示されます。設定内容が良ければ [入力/決定] キーを押します。設定内容が保存され画面27に戻ります。変更するときは [取消] キーを押してもう一度設定をします。

### 4. 時計表示に戻る

画面27で [取消] キーを2回押すと時計表示に戻ります。

画面27



画面28



画面29



画面30



画面31



## メモ

- 表は翌朝電源を投入したときのプログラム実行状態です。実行状態は本設定「オートスタートの設定（3状態）」と「電源遮断時のプログラム実行/停止（2状態）」の2要因によって決まります。

本設定	前夜電源遮断時のプログラム実行状態	
	停止のあと遮断	実行中に遮断
継続のとき	プログラム停止	プログラム実行
実行のとき	プログラム実行	プログラム実行
停止のとき	プログラム停止	プログラム停止

# 1. 設定メニュー（つづき）

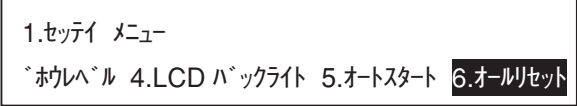
## オールリセット（1-6.オールリセット）

1.設定メニューおよび2.プログラムメニューで登録したすべての内容が消去され、初期状態に戻ります。

### 1. 設定メニュー

[選択] ダイヤルで6.オールリセットにカーソルを置き（画面32）[入力/決定] キーを押します。

画面32



1.セッテイ メニュー  
ボウレベル 4.LCDバックライト 5.オートスタート 6.オールリセット

### 2. 確認画面

確認画面（画面33）が出ます。実行するときは[入力/決定] キーを押します。

画面33



スベテノデータガ ショウキョウサレマス ヨロシイデスカ？

### 3. 時計表示に戻る

オールリセットを実行すると時計表示に戻ります。  
実行しないとき [取消] キーを3回押すと時計表示に戻ります。

OK

## メモ

- この操作で消去された登録内容は回復できません。重要なプログラムや設定の内容は、オールリセット実行前に必ずプログラミングチャートに保存してください。なお、内部時計はリセットされません。

## 演奏スタンバイ（1-7.エンソウスタンバイセッテイ）

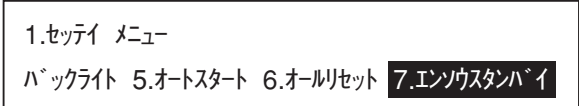
本機後面のRS-232C用コネクタに接続する機器の種別により演奏スタンバイ時間を設定します。

演奏スタンバイ=アリ：CDミュージックプレーヤ（WB-651、WB-655）を接続する場合（初期設定）

演奏スタンバイ=ナシ：デジタルICプレーヤ

（WZ-DP100、WZ-DP200、  
WZ-DP150、WZ-DP250）を  
接続する場合

画面34




1.セッテイ メニュー  
バックライト 5.オートスタート 6.オールリセット 7.エンソウスタンバイ

### 1. 設定メニュー

[選択] ダイヤルで7.エンソウスタンバイにカーソルを置いて（画面34）、[入力/決定] キーを押します。

画面35



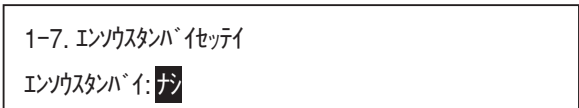
1-7.エンソウスタンバイセッテイ  
エンソウスタンバイ: [アリ]

1-7.エンソウスタンバイセッテイ（画面35）が表示されます。

### 2. 項目選択

[選択] ダイヤルを回して [アリ]（画面35）と [ナシ]（画面36）を表示させることができます。[入力/決定] キーを押します。

画面36




1-7.エンソウスタンバイセッテイ  
エンソウスタンバイ: [ナシ]

### 3. 確認画面

確認画面（画面37）が表示されます。設定内容がよければ [入力/決定] キーを押します。設定内容が保存され画面34に戻ります。変更するときは [取消] キーを押してもう一度設定をします。

画面37



1-7.エンソウスタンバイセッテイ  
エンソウスタンバイ: ナシ OK?

### 4. 時計表示に戻る

画面34で [取消] キーを2回押すと時計表示に戻ります。

## メモ

- 演奏スタンバイ [アリ] の場合、スタンバイ時間は約18秒です。（CDディスクチェンジに要する時間）
- 演奏スタンバイ [ナシ] の場合、スタンバイ時間は約1秒です。
- 演奏スタンバイ [アリ] の設定で、本機からデジタルICプレーヤをRS-232C用コネクタを用いて制御すると、演奏開始の約18秒前からデジタルICプレーヤの動作中出力信号が出力されます。システムの条件に合わせて適切なスタンバイ時間を設定してください。
- WZ-608プログラミングチャートA「各種の設定登録表」（59ページ）に、「1-7.エンソウスタンバイ」 [アリ] または [ナシ] の設定を記録しておくことをおすすめします。

# 2. プログラムメニュー

プログラム実行中はプログラムメニューに入ることができません。プログラムを停止してからプログラムメニューに入ってください。

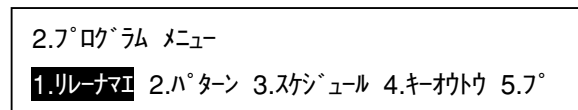
## リレーに名前を付ける (2-1.リレーメイ ニュウリョク)

本機に内蔵されている8個のリレーに名前を付けます。これは前面パネルの液晶画面に「アンプ」「WZ-DP150」のようにそのリレーにつながる機器名を表示してわかりやすくするためです。名前は16文字まで付けられます。操作説明は「リレー1」に「アンプ (5Fフロア)」と入力する例です。

### 1. プログラムメニュー

プログラムメニュー (画面38) で [選択] ダイアルを回して1.リレー名エにカーソルを置き [入力/決定] キーを押します。2-1.リレーメイニュウリョク (画面39) が表示されます。

画面38

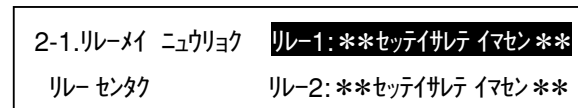


### 2. リレー名入力

#### 2-1 リレー番号 (1) の選択

[選択] ダイアルでリレー1にカーソルを置き [入力/決定] キーを押します。リレー1画面 (画面40) が表示されます。

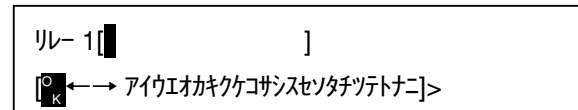
画面39



上段には入力された結果と今から入力する文字の位置を示すカーソルが表示されます。

下段には入力する文字の候補が表示されます。] の右の> はさらに文字列が続いていることを示します。文字候補の右端が表示されるとき>は消えます。左側の<も同じルールで表示されます。

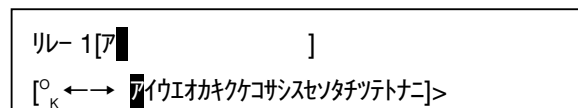
画面40



#### 2-2 文字入力

[選択] ダイアルで「ア」にカーソルを置き [入力/決定] キーを押します。上段に「ア」が表示されます。(画面41)

画面41



#### 2-3 文字入力

同様にして「ン」「フ」「°」と入力します。(画面42)  
この画面の下段で文字候補の両側にある<>は、候補の文字列がさらに右にも左にも続いていることを示しています。現在表示されている中に希望の文字がないときは [選択] ダイアルを回して希望の文字を探します。

画面42

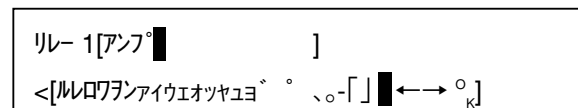


#### 2-4 スペースの入力

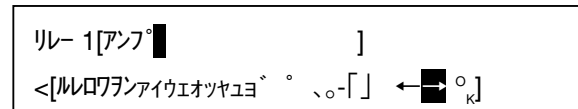
次の二通りの方法があります。

- (画面43) の様に [選択] ダイアルでカーソルを「」右のスペースに移動して [入力/決定] キーを押します。
- (画面44) の様に [選択] ダイアルでカーソルを右端の→に移動して [入力/決定] キーを押します。

画面43



画面44



## 2. プログラムメニュー（つづき）

### 2-5 文字種類の切替

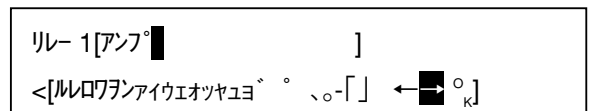


「(」「5」「F」を入力するときは文字種類を切り換えます。上の図のように [切換] キーを押すたびにカタカナ、アルファベット大文字、アルファベット小文字、数字記号の順に文字の種類が切り換わります。続けて「フ」「ロ」「ア」「ン」と入力します。

### 2-6 いったん入力した文字を修正する

- [選択] ダイヤルで矢印 (←または→) にカーソルを置きます。(画面45)
- [入力/決定キー] を繰り返し押し続けて上段のカーソルを修正する文字の位置に移動します。
- 希望の文字を入力します。

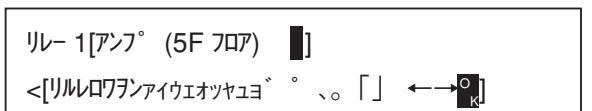
画面45



### 2-7 一つのリレー名の入力終了

入力が終わったら [選択] ダイヤルで「OK」にカーソルを置き [入力/決定] キーを押します。(画面46)

画面46

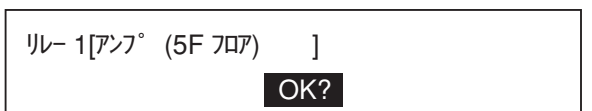


### 2-8 確認画面

確認画面 (画面47) が表示されます。

入力されたリレー名を確認し、よければ [入力/決定] キーを押して (画面48) を表示します。修正をするときは [取消] キーを押して再度入力します。

画面47



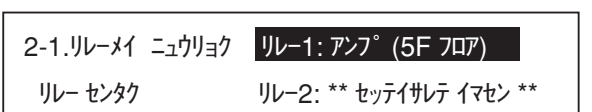
### 2-9 次のリレー名を入力する

リレー2を選択してリレー1と同じ手順でリレー名を入力します。

### 2-10 時計表示に戻る

画面48で [取消] キーを3回押すと時計表示に戻ります。

画面48





## パターン (2-2.パターン メニュー)

### パターンに名前を付ける (2-2-1.パターンメイ ニュウリョク)

A～Gの7種類のパターンを登録できます。名前は平日用、土曜日用、祭日用などのように用途がすぐわかるネーミングをおすすめします。入力できる文字数は16文字までです。

#### 1. プログラムメニュー

[選択] ダイアルで2.パターンにカーソルを置き (画面49) [入力/決定] キーを押します。2-2パターンメニュー (画面50) が表示されます。

画面49

2.プログラムメニュー  
1.リレーナマイ 2.パターン 3.スケジュール 4.キーアウト 5.7°

#### 2. パターン名入力

[選択] ダイアルで1.ナマイにカーソルを置き [入力/決定] キーを押します。2-2-1.パターンメイニュウリョク (画面51) が表示されます。

画面50

2-2.パターンメニュー  
1.ナマイ 2.リレー 3.7°レーヤインソウ 4.7°レーヤアウト

#### 3. 名前を付けるパターンを選択する

(画面51) で [選択] ダイアルを回して名前を付けるパターンを選択し [入力/決定] キーを押します。

画面51

2-2-1.パターンメイ ニュウリョク A: パターン A  
センタク B: パターン B

#### 4. 名前を入力

名前入力の操作方法は“リレーに名前を付ける” (23ページ) と同じ要領です。

### パターンにリレーの動作時間を入力する (2-2-2.リレープログラム)

記入したプログラミングチャートに従ってリレーの動作時間を入力します。

リレーをON/OFFする過程を1ステップとして、最大999ステップのパターンを7種類まで (ただし総ステップ数は4000) 入力し登録できます。

入力を始める前にいくつかの制約事項がありますのでご確認ください。

- 一つのパターンで扱える時間は00:00:00から35:59:59までです。深夜営業をされる場合は、24時以降を使用されると便利です。それ以外は0時から24時を使用してください。
- すべてのパターンで最も早い時刻のステップから最後のステップまでの時間は24時間以内になしてください。
- パターンは後でスケジュールに登録されます。ある日の最も遅いステップ実行時刻が次の日の最も早いステップ実行時刻と前後しないようにプログラムしてください。
- 一つのステップの中で終了時刻は必ず開始時刻の後になるように設定してください。
- 前のステップの終了時刻の後に次のステップの開始時刻を設定してください。
- 相手機器に合わせたリレー動作

制御される機器によって次の二通りの仕様があります。相手機器に合わせてリレーのON-OFFをプログラムします。相手機器の説明書をお読みください。

#### ・保持タイプの機器

(リレーがONで動作を開始し、ONの間動作を保持し、リレーがOFFすると動作を停止する機器)  
：プログラミング：開始時刻にリレーをONし終了時刻にOFFします。

#### ・パルスタイプの機器

(1秒間のリレーONで動作開始し、機器自身が動作を保持し、次のリレーONで動作を停止する機器)  
：プログラミング：開始時刻にリレーをONして、1秒後にOFFに戻します。停止時刻にもう一度1秒間リレーをONしてOFFに戻します。

## 2. プログラムメニュー (つづき)

### 1. パターンメニュー

[選択] ダイアルで2.リレーにカーソルを置き (画面52)  
[入力/決定] キーを押します。

### 2. パターンを選択する

[選択] ダイアルでA:パターンAにカーソルを置き (画面53) [入力/決定] キーを押します。入力されたパターン名、この例ではA:パターンAが表示されます。

### 3. リレーを選択する

[選択] ダイアルを回しリレー1を表示させ (画面54)  
[入力/決定] キーを押します。

### 4. ステップ番号の選択

[選択] ダイアルを回してステップ001>を表示させ (画面55) [入力/決定] キーを押します。001>の右に開始時刻 (リレーをONする時刻) 00:00:00が表示されます。

### 5. 開始時刻 (時) の入力

[選択] ダイアルで希望する時間を表示させ (画面56)  
[入力/決定] キーを押します。カーソルが分の位置に移動します。

### 6. 開始時刻 (分) の入力

[選択] ダイアルを回して希望する分を表示させ (画面57) [入力/決定] キーを押します。カーソルが秒の位置に移動します。

### 7. 開始時刻 (秒) の入力

[選択] ダイアルを回して希望する秒を表示させ (画面58) [入力/決定] キーを押します。開始時刻 (リレーをONする時刻) の右側に終了時刻 (リレーをOFFする時刻) が表示されます。

### 8. 終了時刻 (時、分、秒) の入力

(画面59) で開始時刻と同じ要領でそれぞれ入力します。秒で [入力/決定] キーを押すと (画面60) のカーソル部分が点滅します。

### 9. パターンの入力を終了する

- 9-1 必要なステップを入力し終わったら [切換] キーを押します。
- 9-2 [選択] ダイアルでオワリにカーソルを置き (画面61) [入力/決定] キーを押します。これで終了です。

画面52

2-2.パターンメニュー
1.ナI 2.リレー 3.フレイメンソウ 4.フレイヤオウト

画面53

2-2-2.リレープログラム	A:パターンA
パターン センタ	B:パターンB

画面54

2-2-2.リレープログラム	ニュリヨクスル リレ-No.1
A:パターンA	[ ]

画面55

A:パターンA	0001>
リレ No.1	0002>

画面56

A:パターンA	0001>09:00:00
リレ No.1	0002>

画面57

A:パターンA	0001>09:59:55
リレ No.1	0002>

画面58

A:パターンA	0001>09:59:55
リレ No.1	0002>

画面59

A:パターンA	0001>09:59:55 10:10:00
リレ No.1	0002>

画面60

A:パターンA	0001>09:59:55 10:10:00
リレ No.1	0002>

画面61

サグゾ ソニユウ オワリ	0001>09:59:55 10:10:00
	0002>

## 10. 次のステップに入力する

- 10-1 画面62でカーソルが点滅しているとき [選択] ダイヤルを回して次のステップにカーソルを置き (画面63)、[入力/決定] キーを押します。(画面64) で次のステップ0002>に前ステップの終了時刻が表示されます。
- 10-2 ステップ1と同じ要領で開始時刻と終了時刻を入力します。

画面62

A:ハ°ターン A	0001>09:59:55 10:10:00
リレー No.1	0002>

画面63

A:ハ°ターン A	0001>09:59:55 10:10:00
リレー No.1	0002>

画面64

A:ハ°ターン A	0001>09:59:55 10:10:00
リレー No.1	0002>10:10:00

## 11 入力したステップを削除する

- 11-1 (画面65) 表示中に [選択] ダイヤルで削除するステップにカーソルを置いて [切換] キーを押します。(画面66) が表示されます。
- 11-2 [選択] ダイヤルでサクジョにカーソルを置いて [入力/決定] キーを押します。(画面67) が表示されます。ステップ15には従来ステップ16にあった内容が繰り上がっています。

画面65

A:ハ°ターン A	0015>11:59:55 11:59:57
リレー No.1	0016>12:10:00 12:10:02

画面66

サクジョ ソウニユウ オリ	0015>11:59:55 11:59:57
リレー No.1	0016>12:10:00 12:10:02

画面67

A:ハ°ターン A	0015>12:10:00 12:10:02
リレー No.1	0016>12:20:00 12:30:02

画面68

A:ハ°ターン A	0015>11:59:55 11:59:57
リレー No.1	0016>12:10:00 12:10:02

画面69

サクジョ ソウニユウ オリ	0015>11:59:55 11:59:57
リレー No.1	0016>12:10:00 12:10:02

画面70

A:ハ°ターン A	0015>11:59:55 11:59:57
リレー No.1	0016>11:59:55 11:59:57

## 12 ステップを挿入する

- 12-1 (画面68) 表示中に [選択] ダイヤルで挿入する一つ前のステップにカーソルを置いて [切換] キーを押します。(画面69) が表示されます。
- 12-2 [選択] ダイヤルでソウニユウにカーソルを置いて [入力/決定] キーを押します。(画面70) ではステップ16にステップ15の内容が挿入コピーされています。従来 (画面69) でこの位置にあったステップ16の内容はステップ17に順送りされます。
- 12-3 挿入したステップの時刻設定をします。

## 2. プログラムメニュー（つづき）

### パターンにプレーヤの演奏開始時間を入力する（2-2-3.プレーヤエンソウ）

デジタルICプレーヤ（WZ-DP100、WZ-DP150、WZ-DP200、WZ-DP250）、CDミュージックプレーヤ（WB-651、WB-655）の指定曲を希望時間に演奏させる制御をします。

このとき、本機後面のRS-232C用コネクタとプレーヤを接続する必要があります。

接続のしかた（51、52ページ）の通りになっていることを確認してください。

次の項目を設定します。

- 演奏開始時間を設定する
- 演奏ディスクを指定する
- チャンネルを指定する
- 曲番を指定する

ただし、本機後面のRS-232C用コネクタに接続する機器により設定内容には以下の制約があります。

機種品番	設定項目	設定値	内容
デジタルIC プレーヤ WZ-DP100 WZ-DP150 WZ-DP200 WZ-DP250	ディスク番号	1	カードA面の曲を指定する
		2	カードB面の曲を指定する
		3、4	使用できません
		5	組合せメッセージ、プログラムメッセージを指定する
	チャンネル番号	0	「0」に設定する
		1～8	使用できません
曲番号	1～99	曲番号を指定する	
CDミュージック プレーヤ WB-651	ディスク番号	1	「1」を設定する
		2～5	使用できません
	チャンネル番号	0～8	チャンネル番号を指定する（ステレオ4chモノラル8ch）
曲番号	1～99	曲番号を指定する	
CDミュージック プレーヤ WB-655	ディスク番号	1～5	CD番号を指定する
	チャンネル番号	0～8	チャンネル番号を指定する（ステレオ4chモノラル8ch）
	曲番号	1～99	曲番号を指定する

この例では「パターンA」に「15時10分00秒」から「ディスク1」にある「8曲目」を演奏する設定の操作を説明します。

## 1. パターンメニュー

[選択] ダイヤルで3.プレイヤーエンソウにカーソルを置き  
[入力/決定] キーを押します。

## 2. パターンの選択

(画面72) で [選択] ダイヤルを回しパターンAにカーソルを置き [入力/決定] キーを押します。

## 3. ステップの決定

(画面73) で [選択] ダイヤルを回し入力するステップにカーソルを置き [入力/決定] キーを押します。

## 4. 演奏開始時刻の入力

### 4-1 演奏時間 (時) の入力

(画面74) で [選択] ダイヤルを回し希望の「時」を表示させて [入力/決定] キーを押します。

### 4-2 演奏時間 (分) の入力

(画面75) で [選択] ダイヤルを回し希望の分を表示させて [入力/決定] キーを押します。

### 4-3 演奏時間 (秒) の入力

(画面76) で [選択] ダイヤルを回し希望の秒を表示させて [入力/決定] キーを押します。(画面77・次ページ) が表示されカーソルが演奏ディスク番号の位置に移動します。

画面71

2-2.パター ンメニュー
1.ナマ I 2.リレー 3.プレイヤーエンソウ 4.プレイヤーアウト

画面72

2-2-3.プレイヤーエンソウ	A: パターン A
パターン センタ	B: パターン B

画面73

プレイヤーエンソウプログラム	0001>
A:パターン A	0002>

画面74

プレイヤーエンソウプログラム	0001>15:00:00
A:パターン A	0002>

画面75

プレイヤーエンソウプログラム	0001>15:10:00
A:パターン A	0002>

画面76

プレイヤーエンソウプログラム	0001>15:10:00
A:パターン A	0002>

## メモ

- プレーヤを使用する場合は、以下の注意が必要です。
  - ・一つのステップの演奏開始時刻はその前のステップの開始時刻から1分以上あけてください。
  - ・本機からの演奏停止を制御することはできません。
  - ・CDミュージックプレーヤ (WB-651またはWB-655) にはRS-232Cインターフェース (WB-Z12) を組み込んで使用します。
  - ・CDミュージックプレーヤ (WB-655A) は、RS-232C用コネクタを使用した運用はできません。

## 2. プログラムメニュー (つづき)

### 5. ディスク番号の指定

(画面77) で [選択] ダイアルを回して希望のディスク番号を表示させ [入力/決定] キーを押します。

### 6. チャンネルの指定

(画面78) が表示されカーソルがチャンネルの位置に移動します。

デジタルICプレーヤを使用している場合は [選択] ダイアルで「0」チャンネルを表示させて [入力/決定] キーを押します。CDミュージックプレーヤを使用している場合は [選択] ダイアルで希望のチャンネルを表示させて [入力/決定] キーを押します。チャンネルの指定は「0」または「1～8」のどちらかにします。カーソルが演奏曲番の位置に移動します。

### 7. 曲番の指定

(画面79) で [選択] ダイアルを回し希望の曲番を表示させて [入力/決定] キーを押します。(画面80) が表示されます。

画面77

プレーヤエンソウプログラム	0001>15:10:00	1-0-01
A:パターン A	0002>	

画面78

プレーヤエンソウプログラム	0001>15:10:00	1-0-01
A:パターン A	0002>	

画面79

プレーヤエンソウプログラム	0001>15:10:00	1-0-08
A:パターン A	0002>	

画面80

プレーヤエンソウプログラム	0001>15:10:00	1-0-08
A:パターン A	0002>	

### メモ

- CDミュージックプレーヤを使用する場合の制約事項を説明します。

CDミュージックプレーヤでは、ディスクに市販の音楽CD (CD-DA規格) のものを使用している (市販のCDの使用には、著作権上の制約があります。詳しくはプレーヤの説明書をお読みください) と、チャンネルがないのでチャンネル設定は「0」固定になり、CD-BGMのディスクを使用するとモノラルで8チャンネルあるのでチャンネル設定は「1～8」を設定できます。また1つのディスクに対してチャンネル設定「0」と「1～8」を混在させることはできません。

- ・ チャンネル指定の良くない例を示します。(画面81)

では一つのディスクに対してチャンネル指定が「0」とそれ以外が混在しています。チャンネルの指定は1枚のディスクに対して全パターンのステップ中で「1から8」または「0」のどちらかにします。

- ・ 演奏開始時間指定の良くない例を示します。

(画面82) ではステップ0001とステップ0002の開始時間が30秒しかあいていません。間隔は1分以上必要です。

- プレーヤ演奏プログラムでは1ステップで複数の曲を指定することはできません。またリレー動作 (25ページ) の入力と同様に以下の制約を受けます。
- 一つのパターンで扱える時間は00:00:00から35:59:59までです。
- 一つのパターンで最も早い時刻のステップから最後のステップまでは24時間以内にしてください。
- パターンは後でスケジュールに登録されます。ある日の最も遅いステップ実行時刻が次の日の最も早いステップ実行時刻と前後しないようにプログラムしてください。

画面81

プレーヤエンソウプログラム	0001>16:10:00	3-0-08
A:パターン A	0002>16:11:00	3-4-09

画面82

プレーヤエンソウプログラム	0001>16:10:00	3-1-08
A:パターン A	0002>16:10:30	3-4-09

## 8. プレーヤ演奏の入力を終了する

- 8-1 曲番を入力し終わると（画面83）が表示されます。[切換] キーを押します。（画面84）が表示されます。
- 8-2 [選択] ダイアルでオワリにカーソルを置き [入力/決定] キーを押します。これで終了です。

画面83

プレーヤインソフプログラム	0001>15:10:00 1-0-08
A:パートン A	0002>

画面84

サクジヨ ソウニユウ <b>オワリ</b>	0001>15:10:00 1-0-08
A:パートン A	0002>

## 9. 新たなステップに入力する

- 9-1 （画面85）でカーソルが点滅しているとき [選択] ダイアルを回して希望のステップにカーソル表示させ、[入力/決定] キーを押します。（画面86）
- 9-2 ステップ1と同じ要領で演奏開始時刻の時分秒、ディスク番号、チャンネル、曲番を入力します。

画面85

プレーヤインソフプログラム	0001>15:10:00 1-0-08
A:パートン A	0002>

画面86

プレーヤインソフプログラム	0001>15:10:00 1-0-08
A:パートン A	0002>

## 10 入力したステップを削除する

- 10-1 （画面87）表示中に [選択] ダイアルで削除するステップにカーソルを置いて [切換] キーを押します。（画面88）が表示されます。
- 10-2 [選択] ダイアルでサクジヨにカーソルを置いて [入力/決定] キーを押します。（画面89）では従来のステップ01は削除され代わりに従来のステップ02が繰り上がっています。

画面87

プレーヤインソフプログラム	0001>15:10:00 1-0-08
A:パートン A	0002>16:10:00 2-0-06

画面88

<b>サクジヨ</b> ソウニユウ オワリ	0001>15:10:00 1-0-08
A:パートン A	0002>16:10:00 2-0-06

画面89

プレーヤインソフプログラム	0001>16:10:00 2-0-06
A:パートン A	0002>17:10:00 1-0-31

## 11 ステップを挿入する

- 11-1 （画面90）表示中に [選択] ダイアルで挿入する一つ前のステップにカーソルを置いて [切換] キーを押します。（画面91）が表示されます。
- 11-2 [選択] ダイアルでソウニユウにカーソルを置いて [入力/決定] キーを押します。（画面92）では指定したステップの次の行に指定行の内容が挿入コピーされています。（画面90）でこの位置にあったステップ内容は挿入行の後に順送りされます。
- 11-3 挿入したステップの演奏開始時刻の時分秒、ディスク番号、チャンネル、曲番を入力します。

画面90

プレーヤインソフプログラム	0001>15:10:00 1-0-08
A:パートン A	0002>16:10:00 2-0-06

画面91

サクジヨ <b>ソウニユウ</b> オワリ	0001>15:10:00 1-0-08
A:パートン A	0002>16:10:00 2-0-06

画面92

プレーヤインソフプログラム	0001>15:10:00 1-0-08
A:パートン A	0002>15:10:00 1-0-08

## 2. プログラムメニュー (つづき)

### プレーヤ応答プログラムの設定 (2-2-4.プレーヤアウトウ)

このプログラムは、プレーヤ応答で設定した曲をプレーヤが演奏している（本機からの制御以外で）ことを検出してその曲の演奏に連動させて、本機のリレーを制御するものです。

このとき、本機後面のRS-232C用コネクタとプレーヤを接続する必要があります。接続のしかた（51、52ページ）の通りになっていることを確認してください。

操作の例はプレーヤが「2枚目のディスク」の「0チャンネル」の「6曲目」を演奏したとき、本機の「リレー3をON」にする設定です。

#### 1. パターンメニュー

2-2パターンメニュー（画面93）表示中に、[選択] ダイヤルで4.プレーヤアウトウにカーソルを移動して [入力/決定] キーを押します。

#### 2. パターンの選択

（画面94）で [選択] ダイヤルを回してパターンBにカーソルを移動し [入力/決定] キーを押します。

#### 3. ステップ

（画面95）で [入力/決定] キーを押します。

#### 4. ディスクを指定する

（画面96）で [選択] ダイヤルを回し希望のディスク番号を指定し [入力/決定] キーを押します。カーソルがチャンネルの位置に移動します。

#### 5. チャンネルを指定する

（画面97）で [選択] ダイヤルを回して希望のチャンネル番号を指定し [入力/決定] キーを押します。カーソルが曲番号の位置に移動します。

#### 6. 曲番号の指定

（画面98）で [選択] ダイヤルを回し希望の曲番号を指定して [入力/決定] キーを押します。カーソルがプレーヤの演奏に連動するリレー設定の位置に移動します。

（画面99）

#### 画面93

2-2.パターンメニュー
1.マイ 2.リレー 3.プレーヤエンソウ 4.プレーヤアウトウ

#### 画面94

2-2-4.プレーヤアウトウ	A: パターン A
パターン センタク	B: パターン B

#### 画面95

プレーヤアウトウプログラム	0001>
B: パターン B	0002>

#### 画面96

プレーヤアウトウプログラム	0001>2-0-01
B: パターン B	0002>

#### 画面97

プレーヤアウトウプログラム	0001>2-0-01
B: パターン B	0002>

#### 画面98

プレーヤアウトウプログラム	0001>2-0-06
B: パターン B	0002>

#### 画面99

プレーヤアウトウプログラム	0001>2-0-06	On R1
B: パターン B	0002>	

#### メモ

- この設定はプレーヤの曲目によって放送するエリアを分ける場合などに便利です。連動したリレーでアンプの放送制御を行い特定の曲をそのアンプがカバーするエリアに放送する用途に使えます。
- この設定は本機以外の機器がプレーヤを制御したときのみ有効です。



## 7. 連動リレーの設定

7-1 (画面100) 表示中に [選択] ダイアルを回してこの例では On を選択します。

リレーの設定は次の4種類から選択します。

- ・ On : 指定曲が演奏開始時にリレーをOnする
- ・ Off : 指定曲が演奏開始時にリレーをOffする
- ・ Tgl : トグル (反転)、指定曲が演奏開始時にリレーがOnならOffに、OffならOnにする
- ・ Make : メイク、指定曲が演奏開始時にリレーをOnにして保持、演奏終了時にOffする

7-2 [入力/決定] キーを押します。カーソルがリレー番号に移動します。

## 8. リレー番号の設定

(画面101) で [選択] ダイアルを回し希望のリレー番号 (この例はリレー3) を指定して [入力/決定] キーを押します。

## 9. プレーヤ応答プログラムの終了

9-1 (画面102) で [切換] キーを押します。

9-2 (画面103) で [選択] ダイアルを回してオワリにカーソルを置き [入力/決定] キーを押します。これで終了です。

## 10 入力したステップを削除する

10-1 (画面104) 表示中に [選択] ダイアルで削除するステップにカーソルを置いて [切換] キーを押します。

(画面105) が表示されます。

10-2 [選択] ダイアルでサクジョにカーソルを置いて [入力/決定] キーを押します。(画面106) が表示されます。今まで一つうしろにあったステップの内容が繰り上がって表示されます。

## 11 ステップを挿入する

11-1 (画面107) 表示中に [選択] ダイアルで挿入する一つ前のステップにカーソルを置いて [切換] キーを押します。(画面108) が表示されます。

11-2 [選択] ダイアルでソウニユウにカーソルを置いて [入力/決定] キーを押します。(画面109) では指定したステップの次の行に指定行の内容が挿入コピーされています。(画面108) でこの位置にあったステップ内容は挿入行のあとに順送りされます。

11-3 挿入したステップの設定をします。

画面100

プレーヤオクトワ°ロ°ラム	0001>2-0-06	On R1
B: パ°タン B	0002>	

画面101

プレーヤオクトワ°ロ°ラム	0001>2-0-06	On R3
B: パ°タン B	0002>	

画面102

プレーヤオクトワ°ロ°ラム	0001>2-0-06	On R3
B: パ°タン B	0002>	

画面103

サクジョ ソウニユウ オワリ	0001>2-0-06	On R3
B: パ°タン B	0002>	

画面104

プレーヤオクトワ°ロ°ラム	0001>2-0-06	On R3
B: パ°タン B	0002>1-0-07	On R5

画面105

サクジョ ソウニユウ オワリ	0001>2-0-06	On R3
B: パ°タン B	0002>1-0-07	On R5

画面106

プレーヤオクトワ°ロ°ラム	0001>1-0-07	On R5
B: パ°タン B	0002>	

画面107

プレーヤオクトワ°ロ°ラム	0001>2-0-06	On R3
B: パ°タン B	0002>1-0-07	On R5

画面108

サクジョ ソウニユウ オワリ	0001>2-0-06	On R3
B: パ°タン B	0002>1-0-07	On R5

画面109

プレーヤオクトワ°ロ°ラム	0001>2-0-06	On R3
B: パ°タン B	0002>2-0-06	On R3

## 2. プログラムメニュー (つづき)

### スケジュール (2-3.スケジュール)

すでに登録したパターンをスケジュールとして1週間の各曜日に割り当てます。プログラムの実行はスケジュールに登録されたパターンを実行します。ここでは「2-2-1.パターンメイ ニュウリョク」でパターンAに日曜日用、パターンBに平日用を設定した場合の例で説明します。(25ページをお読みください)

操作の例は3つのパターンを各曜日に割り当てています。

Sun (日曜日) : 日曜日用パターン  
Mon~Fri (月曜日~金曜日) : 平日用パターン  
Sat (土曜日) : 土曜日用パターン

#### 1. プログラムメニュー

2.プログラムメニュー (画面110) で3.スケジュールにカーソルを置いて [入力決定] キーを押します。

#### 2. 曜日選択 (日曜日)

(画面111) で [選択] ダイアルを回しSunにカーソルを置いて [入力決定] キーを押します。

#### 3. パターン選択

(画面112) で [選択] ダイアルを回し A : ニチヨウビヨウにカーソルを置いて [入力/決定] キーを押します。パターン選択 (画面113) が表示されます。これで日曜日用パターンが日曜日に登録されました。

#### 4. 次の曜日選択 (月曜日)

(画面114) 表示中に [選択] ダイアルでMonにカーソルを置いて [入力/決定] キーを押します。パターン選択が表示されます。

#### 5. 次のパターン選択

(画面115) で [選択] ダイアルを回して B : ヘイジツヨウにカーソルを置いて [入力/決定] キーを押します。パターン選択 (画面116) が表示されます。これで平日用パターンが月曜日に登録されました。

火、水、木、金、土の各曜日にも同様にしてパターンを登録します。

#### 6. 時計表示に戻る

スケジュールの登録が終わったら [取消] キーを3回押しで時計表示に戻ります。

画面110

2.プログラムメニュー
1.リレーマイ 2.パターン 3.スケジュール 4.キーアウト 5.フ

画面111

2-3.スケジュール	Sun: **セッテイサレテ イマセン**
ヨウビ センタク	Mon: **セッテイサレテ イマセン**

画面112

スケジュール	A: ニチヨウビヨウ
Sun: パターンセンタク	B: ヘイジツヨウ

画面113

2-3.スケジュール	Sun: ニチヨウビヨウ
ヨウビ センタク	Mon: **セッテイサレテ イマセン**

画面114

2-3.スケジュール	Sun: ニチヨウビヨウ
ヨウビ センタク	Mon: **セッテイサレテ イマセン**

画面115

スケジュール	A: ニチヨウビヨウ
Mon: パターンセンタク	B: ヘイジツヨウ

画面116

2-3.スケジュール	Sun: ニチヨウビヨウ
ヨウビ センタク	Mon: ヘイジツヨウ

## キー応答 (2-4.キーアウトウ メニュー)

### 機能キー (F1,F2) の設定 (2-4-1.キノウキー)

実行中のプログラムに優先して機能させたい手動操作の項目を、前面パネルの機能キーF1,F2に設定します。機能キーはプログラム実行中のみ働きます。

設定できる機能は次の4種類です。

- 1個のリレーを反転動作させる (トグル: On→Off, Off→On)
- リレー複数個を一括On-Offする
- プレーヤの1曲を再生する
- 実行中のプログラムを他の放送パターン (例: 営業時間延長) に切り換える

#### ■機能キーでリレーを反転動作させる設定

例は「F2」キーに「リレー2」「Tgl」を設定する操作です。

##### 1. プログラムメニュー

2.プログラムメニュー (画面117) で4.キーアウトウにカーソルを置いて、[入力/決定] キーを押します。2-4.キーアウトウメニュー (画面118) が表示されます。

##### 2. キー応答メニュー

[選択] ダイアルで 1:キノウキーにカーソルを置いて [入力/決定] キーを押します。2-4-1.キノウキーアウトウ (画面119) が表示されます。

##### 3. キーの選択

[選択] ダイアルでF02にカーソルを置いて (画面120) [入力/決定] キーを押します。

##### 4. 設定機能の選択

(画面121) ではハイライト幅が短くなります。[選択] ダイアルを回して「Tgl R1」(画面122) を表示させます。[入力/決定] キーを押すとカーソルがリレー番号の位置に移動します。(画面123)

##### 5. リレー番号の選択

[選択] ダイアルを回しリレー番号「2」を表示させて [入力/決定] キーを押します (画面124)。これで機能キーF2の設定が終わりました。

必要なときF1の設定も同様の手順で行います。

画面117

2.プログラムメニュー  
1.リレーマイ 2.パターン 3.スケジュール 4.キーアウトウ 5.7°

画面118

2-4.キーアウトウメニュー  
1.キノウキー 2.ダイレクトキー

画面119

2-4-1.キノウキー F01: \*\*セッテイナシ\*\*  
F02: \*\*セッテイナシ\*\*

画面120

2-4-1.キノウキー F01: \*\*セッテイナシ\*\*  
F02: \*\*セッテイナシ\*\*

画面121

2-4-1.キノウキー F01: \*\*セッテイナシ\*\*  
F02: \*\*セッテイナシ\*\*

画面122

2-4-1.キノウキー F01: \*\*セッテイナシ\*\*  
F02: リレー Tgl R1

画面123

2-4-1.キノウキー F01: \*\*セッテイナシ\*\*  
F02: リレー Tgl R1

画面124

2-4-1.キノウキー F01: \*\*セッテイナシ\*\*  
F02: リレー Tgl R2

## 2. プログラムメニュー（つづき）

### ■機能キーで複数リレーを一括On-Offする設定

複数の機器を同時に制御するとき使用します。機能キーが押されると8個のリレーはここで設定したOn (+), Off (-) 状態に切り換えられ、再度機能キーが押されると元に戻ります。

例は「F2」キーに「リレー1」「リレー3」「リレー4」Onを設定する操作です。

#### 1. プログラムメニュー

2.プログラムメニュー（画面125）で4.キーアウトウにカーソルを置いて、[入力/決定] キーを押します。2-4.キーアウトウメニュー（画面126）が表示されます。

#### 2. キー応答メニュー

[選択] ダイヤルで 1.キノウキーにカーソルを置いて [入力/決定] キーを押します。2-4-1.キノウキー（画面127）が表示されます。

#### 3. キーの選択

[選択] ダイヤルでF02にカーソルを置いて（画面128）[入力/決定] キーを押します。

#### 4. 設定機能の選択

[選択] ダイヤルを回して「リレー On/Off」（画面129）を表示させ [入力/決定] キーを押します。

#### 5. リレーの設定（画面130,131,132）

- [選択] ダイヤルを回してカーソルを希望するリレー番号に移動します。
- [入力/決定] キーを押してOn (+)、Off (-) を設定します。

#### 6. リレー設定の保存

[取消] キーを押します。（画面133）下段にOnに設定されたリレー番号が表示されます。

さらに [取消] キーを4回押すと時計表示に戻ります。

画面125

2.プログラムメニュー  
1.リレー名 2.パターン 3.スケジュール 4.キーアウトウ 5.7°

画面126

2-4.キーアウトウメニュー  
1.キノウキー 2.ダイレクトキー

画面127

2-4-1.キノウキー F01: \*\*セッテイナシ\*\*  
F02: \*\*セッテイナシ\*\*

画面128

2-4-1.キノウキー F01: \*\*セッテイナシ\*\*  
F02: \*\*セッテイナシ\*\*

画面129

2-4-1.キノウキー F01: \*\*セッテイナシ\*\*  
F02: リレー On/Off

画面130

リレーウサセッテイ 1 2 3 4 5 6 7 8  
■-----

画面131

リレーウサセッテイ 1 2 3 4 5 6 7 8  
+-----

画面132

リレーウサセッテイ 1 2 3 4 5 6 7 8  
+ - + +-----

画面133

2-4-1.キノウキー F01: \*\*セッテイナシ\*\*  
F02: リレー On/Off 134

## ■機能キー (F1,F2) でプレーヤの1曲を演奏する設定

操作説明の例は「2枚目」のディスクの「5曲目」を演奏する設定です。  
機能キーは一度押すとプレーヤが演奏を開始します。

### 1. プログラムメニュー

2.プログラムメニュー (画面134) で4.キーアウトウにカーソルを置いて、[入力/決定] キーを押します。

### 2. キー応答メニュー

(画面135) で [選択] ダイアルを回し1.キノウキーにカーソルを置いて [入力/決定] キーを押します。

### 3. 機能キーの選択

(画面136) で [選択] ダイアルを回しF02にカーソルを置いて [入力/決定] キーを押します。

### 4. 設定機能の選択

(画面137) で [選択] ダイアルを回して「プレーヤ (画面138)」を表示させます。[入力/決定] キーを押します。

### 5. 演奏曲の選択

5-1 ディスク番号： [選択] ダイアルを回し「2」を表示させて (画面139) [入力/決定] キーを押します。カーソルがチャンネルの位置に移動します。

5-2 チャンネルの選択： [選択] ダイアルを回し「0」を表示させて (画面140) [入力/決定] キーを押します。カーソルが曲番号の位置に移動します。

5-3 曲番号の選択： [選択] ダイアルを回し「05」を表示させて (画面141) [入力/決定] キーを押します。カーソルが「F02:プレーヤ2-0-05」の行全体をハイライトします。  
(画面142)

### 6. プレーヤ演奏設定の終了

これで機能キーF2の設定が終わりました。

必要なときF1の設定も同様に行います。  
設定が終了したら、[取消] キーを4回押すと時計表示に戻ります。

### メモ

- CDミュージックプレーヤ (WB-651、WB-655) にはRS-232Cインターフェース (WB-Z12) を組み込んで使用します。接続は51ページをお読みください。

画面134

2.プログラム メニュー  
1.リレーナI 2.パタン 3.スケジュール 4.キーアウトウ 5.7°

画面135

2-4.キーアウトウ メニュー  
1.キノウキー 2.ダイレクトキー

画面136

2-4-1.キノウキー F01:\*\*\*セッテイナシ\*\*  
F02:\*\*\*セッテイナシ\*\*

画面137

2-4-1.キノウキー F01:\*\*\*セッテイナシ\*\*  
F02:\*\*\*セッテイナシ\*\*

画面138

2-4-1.キノウキー F01:\*\*\*セッテイナシ\*\*  
F02:プレーヤ 1-0-01

画面139

2-4-1.キノウキー F01:\*\*\*セッテイナシ\*\*  
F02:プレーヤ 2-0-01

画面140

2-4-1.キノウキー F01:\*\*\*セッテイナシ\*\*  
F02:プレーヤ 2-0-01

画面141

2-4-1.キノウキー F01:\*\*\*セッテイナシ\*\*  
F02:プレーヤ 2-0-05

画面142

2-4-1.キノウキー F01:\*\*\*セッテイナシ\*\*  
F02:プレーヤ 2-0-05

## 2. プログラムメニュー（つづき）

### ■機能キー（F1,F2）でパターンの切替をする設定

急に営業時間が延長になったときなど、プログラム実行中にこのキーを押して「平日用」パターン（この例ではパターンA）からあらかじめ登録しておいた「営業時間延長」パターン（パターンB）に迅速に切り換えられます。操作説明の例は「F2」キーに「営業時間延長」パターンを割り当てる設定です。

#### 1. プログラムメニュー

2.プログラムメニュー（画面143）で4.キーアウトウにカーソルを置いて、[入力/決定] キーを押します。2-4.キーアウトウメニューが表示されます。

#### 2. キー応答メニュー

[選択] ダイアルを回し1.キノウキーにカーソルを置いて（画面144）[入力/決定] キーを押します。2-4-1.キノウキーが表示されます。

#### 3. キーの選択

[選択] ダイアルを回しF02にカーソルを置いて（画面145）[入力/決定] キーを押します。

#### 4. 設定項目の選択

（画面146）ではハイライトの幅が狭くなっています。  
[選択] ダイアルを回し「パターン」（画面147）を表示させます。[入力/決定] キーを押します。

#### 5. パターンの選択

[選択] ダイアルを回し「B」を表示させて（画面148）[入力/決定] キーを押します。

#### 6. パターン切替設定の終了

（画面149）ではカーソルが「パターンB」をハイライトします。これでパターン切替の設定が終わりました。

必要なときF1の設定も同様に行います。

設定が終了したら、[取消] キーを4回押すと時計表示に戻ります。

#### メモ

- 機能キーに設定するパターンはあらかじめ登録しておいてください。パターン名、各機器の動作の登録方法は25ページから34ページをお読みください。

画面143

2.プログラムメニュー  
1.リレー名 2.パターン 3.スケジュール 4.キーアウトウ 5.フ

画面144

2-4.キーアウトウメニュー  
1.キノウキー 2.ダイレクトキー

画面145

2-4-1.キノウキー F01: \*\*セッテイナシ\*\*  
F02: \*\*セッテイナシ\*\*

画面146

2-4-1.キノウキー F01: \*\*セッテイナシ\*\*  
F02: \*\*セッテイナシ\*\*

画面147

2-4-1.キノウキー F01: \*\*セッテイナシ\*\*  
F02: PtnA: ハイジツヨク

画面148

2-4-1.キノウキー F01: \*\*セッテイナシ\*\*  
F02: PtnB: イキョウジカンエンチヨク

画面149

2-4-1.キノウキー F01: \*\*セッテイナシ\*\*  
F02: PtnB: イキョウジカンエンチヨク

## ダイレクトキー（外部に設けたスイッチ）の設定（2-4-2.ダイレクトキー）

本機後面パネルのダイレクトキー端子に接続したキー（現地製作）をどのように働かせるかを設定します。キーは#1から#16まで外部に設けられます。接続と仕様は53ページの説明をお読みください。

ダイレクトキーは前面パネルの機能キー（F1,F2）と同様に次の4種類の割付をすることができます。

- 1個のリレーを反転動作させる（トグル：On→Off, Off→On）
- リレー複数個を一括On-Offする
- プレーヤの1曲を再生する
- 実行中のプログラムを他の放送パターン（例：営業時間延長）に切り換える

操作の基本は機能キーの割付操作と同じです。ただ一つの違いは（画面150）で「1.キノウキー」の代わりに「2.ダイレクトキー」を選択することです。その後の操作方法はそれぞれ35ページから38ページをお読みください。

### ■ダイレクトキーでリレーをOn/Offする設定

35、36ページをお読みください。

### ■ダイレクトキーでプレーヤの1曲を演奏する設定

37ページをお読みください。

### ■ダイレクトキーでパターンの切替をする設定

38ページをお読みください。

画面150

2.プログラムメニュー  
1.リレー名 2.パターン 3.スケジュール 4.キーアウト 5.7°

画面151

2-4.キーアウトメニュー  
1.キノウキー 2.ダイレクトキー

#### メモ

- ダイレクトキー#16を使用する場合は、1.設定メニューの2.D16時刻補正で「ダイレクトキー」に設定されているか確認してください。（18ページ）

## プログラムリセット

これは2.プログラムメニューで入力した「1.リレー名前」「2.パターン」「3.スケジュール」「4.キー応答」の内容をすべて消去するためのものです。

### 1. プログラムメニュー

2.プログラムメニュー（画面152）で5.プログラムリセットにカーソルを置いて[入力/決定]キーを押します。確認画面（画面153）が表示されます。

### 2. 確認画面

プログラムリセットを実行するときは[入力/決定]キーを押します。実行しないときは[取消]キーを押します。

### 3. 終了メッセージ

確認画面で[入力/決定]キーを押すと消去完了メッセージ（画面154）が表示されます。[入力/決定]キーを押します。画面152に戻ります。

### 4. 時計表示に戻る

画面152で[取消]キーを2回押すと時計表示に戻ります。

画面152

2.プログラムメニュー  
2.パターン 3.スケジュール 4.キーアウト 5.プログラムリセット

画面153

プログラムがすべて消去されました。

OK ?

画面154

タイムプログラムがすべて消去されました。

OK

#### メモ

- この操作によって消去されたデータは回復できません。操作を行う前に必ずプログラミング内容をチャートに保存してください。なお、この操作は1.設定メニューで入力した内容には影響を与えません。

# 3. テストメニュー

機器の接続が終了した段階で動作を確認するためのメニューです。次の4つの項目をテストします。

- リレー操作** : 任意のリレーを手動でOnまたはOffにして接続されている機器の動作を確認します。
- プレーヤ演奏** : プレーヤの動作を確認します。
- リレー動作1** : リレー1~8を10秒間隔で順次Onにして保持するシーケンスを繰り返します。保持タイプの機器 (25ページ) のテストができます。
- リレー動作2** : 全リレーのOn-Offを1秒間隔で繰り返します。パルスタイプの機器 (25ページ) のテストができます。

## リレー操作 (3-1.リレーソウサ)

### 1. テストメニュー

3.テストメニュー (画面155) で1.リレーソウサにカーソルを置いて [入力/決定] キーを押します。3-1.リレーソウサ (画面156) が表示されます。このときのリレー状態表示は今まで実行していたプログラムの状態です。

### 2. リレーの選択

[選択] ダイアルでテストするリレーの位置にカーソルを移動します。(画面156) ではリレー4を選択しています。

### 3. リレーをOn-Offする

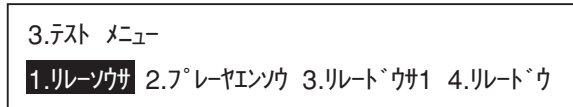
[入力/決定] キーまたは [切換] キーを押すとOn-Offが反転します。プラス「+」はリレーOn、マイナス「-」はOff状態の表示です。(画面157) はリレー4がOn状態で、今からリレー6をテストするところです。

(画面158) の様に指定のリレーをOn-Offさせて接続されている機器が正常に動作しているか確認してください。

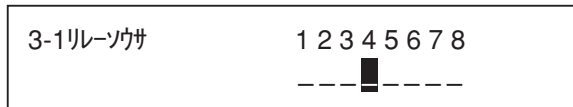
### 4. 時計表示に戻る

[取消] キーを3回押すと時計表示に戻ります。各リレーはテストメニュー実行前の状態に戻ります。

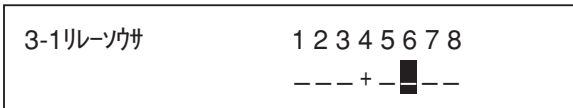
画面155



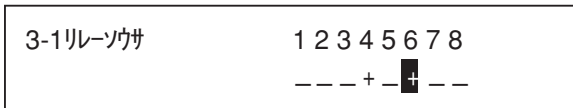
画面156



画面157



画面158





## プレーヤ演奏 (3-2.プレーヤエンソウ)

RS-232C用コネクタに接続されているプレーヤをテストします。

### 1. テストメニュー

3.テストメニュー (画面159) で2.プレーヤエンソウにカーソルを置いて [入力/決定] キーを押します。(画面160) が表示されます。

### 2. 演奏曲の選択

2-1 ディスクの選択: (画面160) で [選択] ダイアルを回しテストするディスク番号を表示します。[入力/決定] キーを押すとカーソルがチャンネルの位置に移動します。

2-2 チャンネルの選択: (画面161) で [選択] ダイアルを回しテストするチャンネル番号を0にします。[入力/決定] キーを押すとカーソルが曲番号の位置に移動します。

2-3 曲番の選択: (画面162) で [選択] ダイアルを回しテストする曲番号を表示して [入力/決定] キーを押します。確認画面 (画面163) が表示されます。

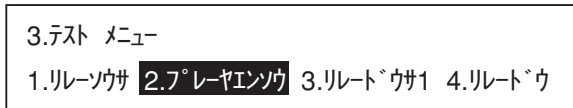
### 3. 確認画面

[入力/決定] キーを押すと演奏が始まります。正常に演奏されていることを確認します。

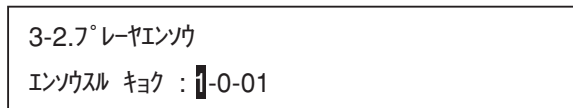
### 4. 時計表示に戻る

画面163で [入力/決定] キーを押した後、[取消] キーを3回押すと時計表示に戻ります。

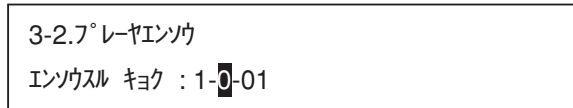
画面159



画面160



画面161



画面162



画面163



### メモ

- 演奏を開始したプレーヤを本機から停止させることはできません。プレーヤにWZ-DP150、WZ-DP250をお使いの場合は、プレーヤ自身の停止ボタンを押すことで、停止させることができます。プレーヤにWB-651、WB-655、WZ-DP100、WZ-DP200をお使いの場合は、停止させることはできません。演奏終了をお待ちください。

### 3. テストメニュー（つづき）

#### リレー動作1（3-3.リレードウサ1）、リレー動作2（3-4.リレードウサ2）

保持タイプ機器（25ページ）、パルスタイプ機器（25ページ）を制御するリレーのテストに便利な内蔵シーケンスを実行します。それぞれのリレーがOn-Offするタイミングで対応する機器の動作を確認します。

##### ●リレー動作1のシーケンス（保持タイプ用）

初期状態はすべてのリレーがOff→リレー1だけが10秒間On→リレー2だけが10秒間On→10秒間ずつ順次リレー3,4,5,6,7がOn→リレー8が10秒間On→全リレーが10秒間On→初期状態

##### ●リレー動作2のシーケンス（パルスタイプ用）

初期状態はすべてのリレーがOff → 全リレー1秒間 On →全リレー1秒間-Off →以降1秒間隔で繰り返し

#### 1. テストメニュー

3.テストメニュー（画面164または169）で3.リレードウサ1または4.リレードウサ2にカーソルを置いて[入力/決定]キーを押します。

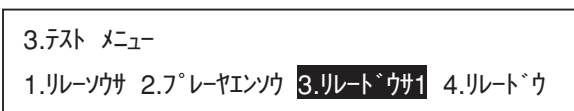
#### 2. シーケンスの実行

シーケンスが実行され対応する画面が表示されます。それぞれのタイミングで機器の動作を確認します。

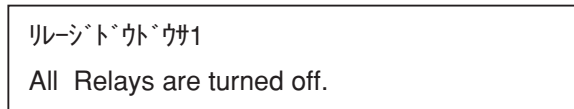
#### 3. リレー動作を終了する

[取消]キーを1回押すと3.テストメニューに戻ります（画面168または172）。さらに2回押すと時計表示に戻ります。

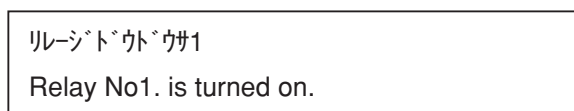
画面164



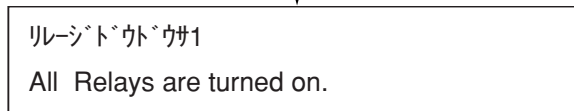
画面165



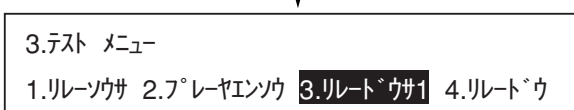
画面166



画面167

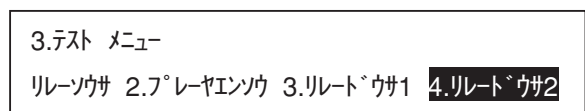


画面168

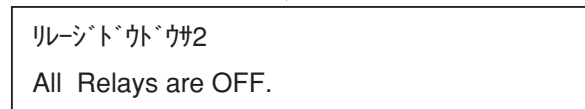


リレー動作1（画面164 - 168）

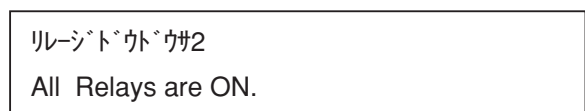
画面169



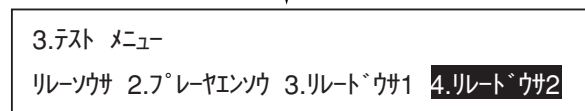
画面170



画面171



画面172



リレー動作2（画面169 - 172）

#### 重要

- 動作確認が終了したら、[取消]キーを押して、すみやかにテスト動作を終了させてください。リレーの寿命を縮める原因となりますので、テスト動作は必要なときだけ行ってください。

# 設置上のご注意



## 警告

工事は必ず販売店に依頼してください。

工事を行う前に、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、「安全上のご注意」をよく読んでその指示に従ってください。接続する機器の取扱説明書もあわせてお読みください。

設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください。

付属の電源コードは本機専用です

他の機器には使用しないでください。

## 設置場所について

- 本機は屋内専用機器です。

以下の場所に設置しないでください。

- ・ 湿気やほこり、蒸気や油分の多い場所
- ・ 使用周囲温度（0℃～+45℃）を越える場所
- ・ エアコンの吹き出し口近くや外気の入り込む扉付近など、急激に温度が変化する場所

## 静電気について

静電気による破損を防止するため、作業を始める前に金属部に手を触れ、人体に帯電している静電気を放電してください。

## 電源について

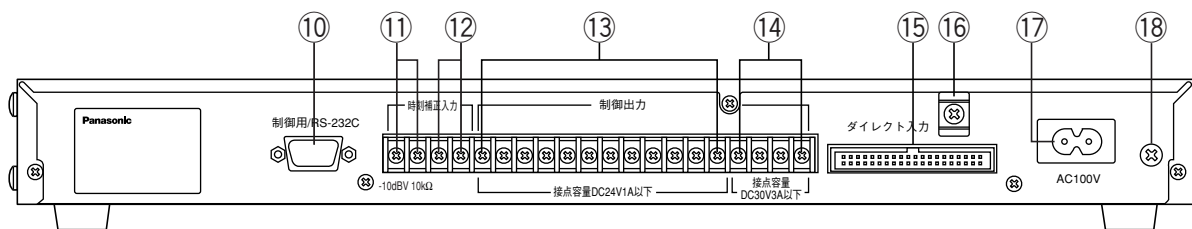
本機に電源スイッチはありません。電源を遮断するときは、電源コードを電源コンセントから抜いてください。

また、電源コードは必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続してください。

- (1) 電源制御ユニットを介して接続する。
- (2) 電源コンセントの近くに設置し、電源プラグを介して接続する。
- (3) 3.0 mm以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。ブレーカーは保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用すること。

# 各部の名前と働き

## 〔後面パネル〕



### ⑩ RS-232C用コネクタ [制御用/RS-232C]

デジタルICプレーヤやCDミュージックプレーヤなど232C インターフェースを持った機器を接続します。

### ⑪ 時刻補正入力 [音声入力]

FMラジオチューナーの音声出力をつなぎます。放送波中の時報信号 (880 Hz) により内部時計の時刻補正を行います。

### ⑫ 時刻補正入力 [親時計24V]

30秒式親時計をつなぎます。親時計からの24V信号により本機内部時計の時刻補正を行います。

### ⑬ 制御出力 [3,4,5,6,7,8]

制御する機器を接続します。出力時はリレーの接点がメイクされます。接点容量はDC24V 1A以下です。リレーOn-Offのタイミングはプログラミングによって決まります。

### ⑭ 制御出力 [1,2]

制御する機器を接続します。出力時はリレーの接点がメイクされます。接点容量はDC30V 3A以下です。リレーOn-Offのタイミングはプログラミングによって決まります。

### ⑮ ダイレクトキー入力 [ダイレクトキー入力]

機能拡張のため外部に設けたキーを接続します。プログラミングによってプレーヤの1曲演奏などを割り付けられます。

### ⑯ ケーブルクランプ

電源コードを固定するのに使用します。

### ⑰ ACインレット [AC 100 V]

付属の電源コードを接続します。

### ⑱ 信号グランド [SIGNAL GND]

落雷の多い地域やノイズがでる、動作が不安定になるなど必要な場合、他の機器のSIGNAL GND 端子と接続します。

# ラックへの取り付けかた

## ラックについて

本機を取り付けるラックは、必ず下記のEIA規格相当ラック（奥行き450 mm以上）をご使用ください。

スタンダードラック：	WU-RS80	収納ユニット数29 U
ロングラック：	WU-RL85	収納ユニット数41 U
EIA規格相当品：	EIA19型奥行き450 mm以上	

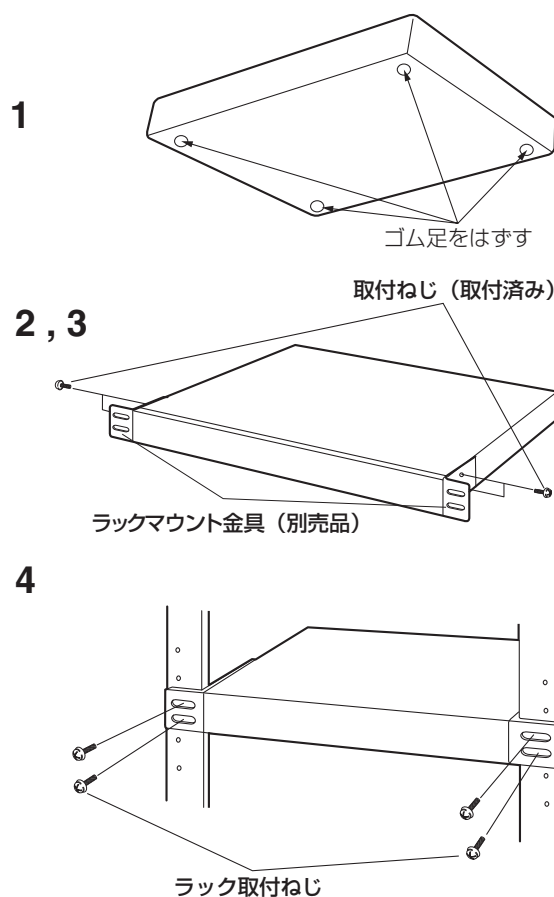
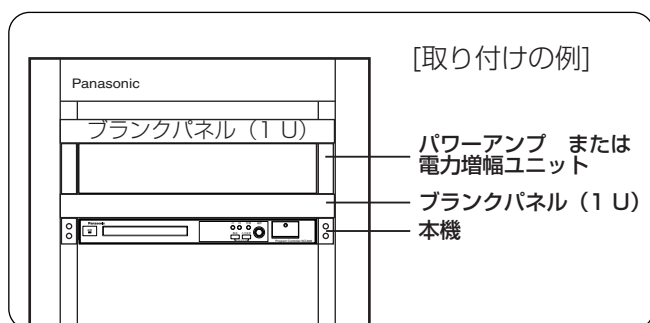
## 準備するもの

幹旋部品のラックマウント金具YBSKG022（左右1セット）をあらかじめご用意ください。

当社以外のラックをご使用の際は別売幹旋部品のラック取付ねじ W2-MSS/5008（20本入）または M5X12（4本）が別途必要です。（当社製ラックに取り付けるときはラックに付属しているタッピングねじを使います。）

## ラックに取り付ける

- 1 底面のゴム足（4個）を取り外す
- 2 本機両側面の取付ねじ4本を外す
- 3 外したねじ（鋼製 M4×10）でラックマウント金具を本機に取り付ける  
ねじの締付トルク：98～117.6 N・cm  
{10～12 kgf・cm}
- 4 ラック取付ねじで本機をラックに取り付ける  
使用ねじ  
WU-RS80/RL85 …呼び径 5×12 タッピングねじ  
（ラックに付属）  
ねじの締付トルクは2～2.4 N・m  
{20.5～24.5 kgf・cm}です。



### 重要

- ラックに取り付けるときは、パワーアンプや電力増幅ユニットなどの発熱する機器の上部には設置しないでください。故障の原因となります。また下部に設置するときも1 U以上の間隔をあけてください。非常用放送設備のラックに収納したときは、下部にある非常電源ユニット、および電源制御ユニットとは1 U以上の間隔をあけて設置してください。

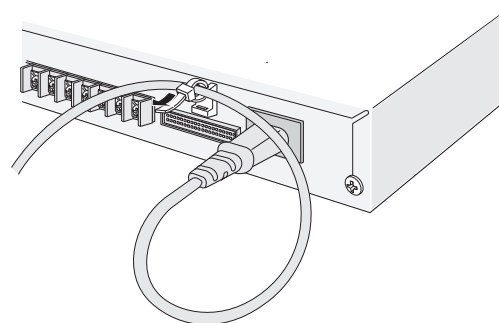
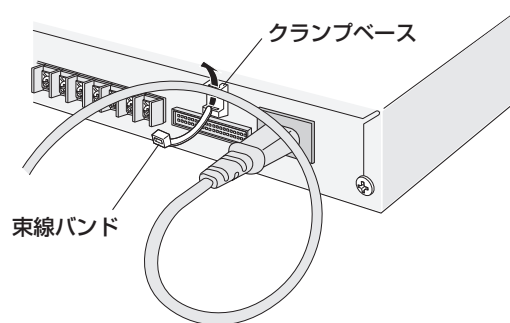
# 接続のしかた

## 電源コードのクランプ

電源コードのプラグが誤って本機のACインレットから抜けないように、付属の束線バンドで電源コードをクランプしてください。

### クランプのしかた

- 1 電源コードをACインレットに挿し込みます。
- 2 電源コードを右図のように輪を作ってクランプベースの上に電源コードを引き回します。  
このとき、電源コードの輪は本機の側面より外側に出ない大きさにして、ラック組込み時にラックの筐体でコードが傷つかないようにしてください。折り曲げてクランプベースの上に引き回すのは、電源コードを傷めるので絶対にしないでください。
- 3 図のようにクランプベースに束線バンドを通して、電源コードをクランプします。  
付属束線バンドの寸法：幅2.5 mm、長さ100 mm  
参考：クランプベースの束線バンド通し穴寸法  
縦1.5 mm、幅5.4 mm



# 制御出力の接続

リレーの制御容量は出力番号により異なります。この容量を超えない相手機器をそれぞれに接続します。

出力1、2：	DC30 V 3 A
出力3～8：	DC24 V 1 A

リレーの動作を相手機器のタイプに合わせてプログラミングしてください。(詳細は25ページ)

保持タイプ：	リレーがOnの間動作を保持する機器
パルスタイプ：	最初の1秒間Onで動作開始、次の1秒間Onで動作停止

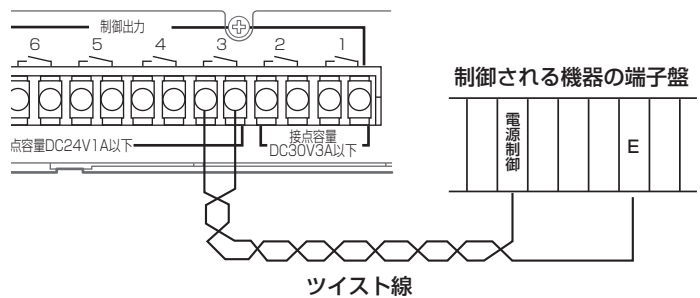
## ■非常放送、ラックアンプ、調整卓のとき

### ●電源制御

ラック形音響装置、音声調整卓の端子盤にある電源制御端子とつなぎます。相手機器の電源の入切を制御します。

#### プログラミングのしかた

相手機器の電源投入時にリレーをOnしてそのまま保持、電源切断時にOffするようにします。

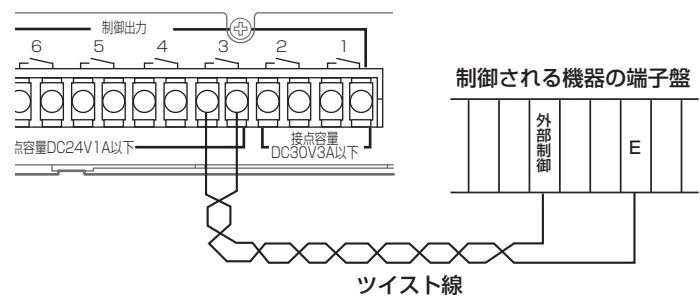


### ●放送制御

非常用放送設備、ラック形音響装置の端子盤にある外部制御端子とつなぎます。相手機器の電源を入れて、一斉または個別放送状態にします。

#### プログラミングのしかた

相手機器の放送開始時にリレーをOnしてそのまま保持、放送終了時にOffするようにします。



# 接続のしかた (つづき)

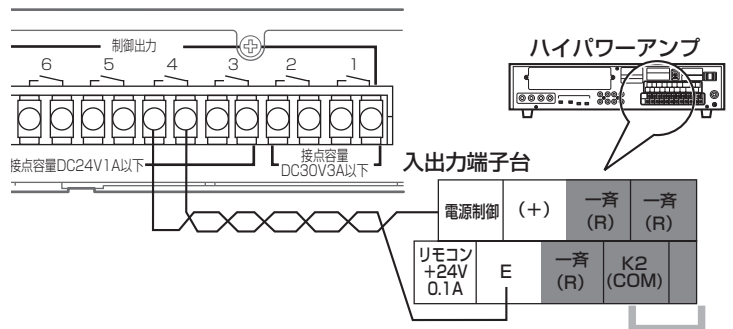
## ■ハイパワーアンプのとき

### ●放送制御

アンプの電源を入れ一斉放送の状態にします。

#### プログラミングのしかた

リレーのプログラミングは電源投入時にOnして、そのまま保持、電源切断時にOffするようにします。



#### メモ

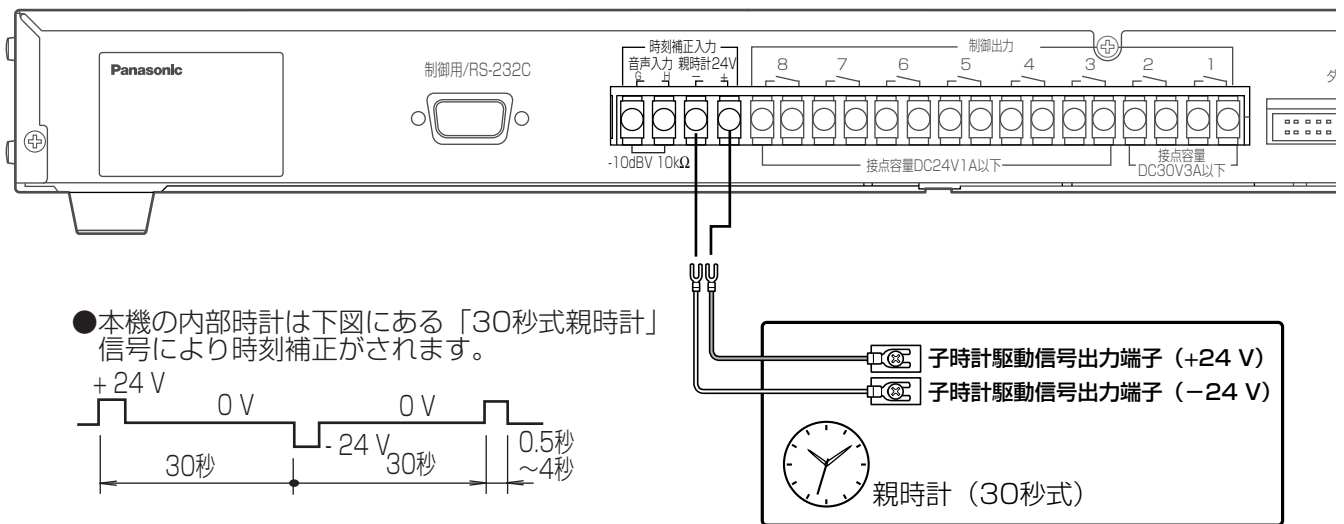
- 詳しい方法はそれぞれ相手機器の説明書をお読みください。

## ■自動時刻補正入力の接続

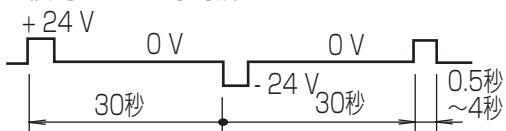
親時計、FMラジオチューナー、メイク接点の接続方法を示します。

### ●親時計

30秒式親時計の出力24 Vを本機につなぎます。プラス/マイナスをテスターで確認の後、極性を合わせて接続します。



- 本機の内部時計は下図にある「30秒式親時計」信号により時刻補正がされます。



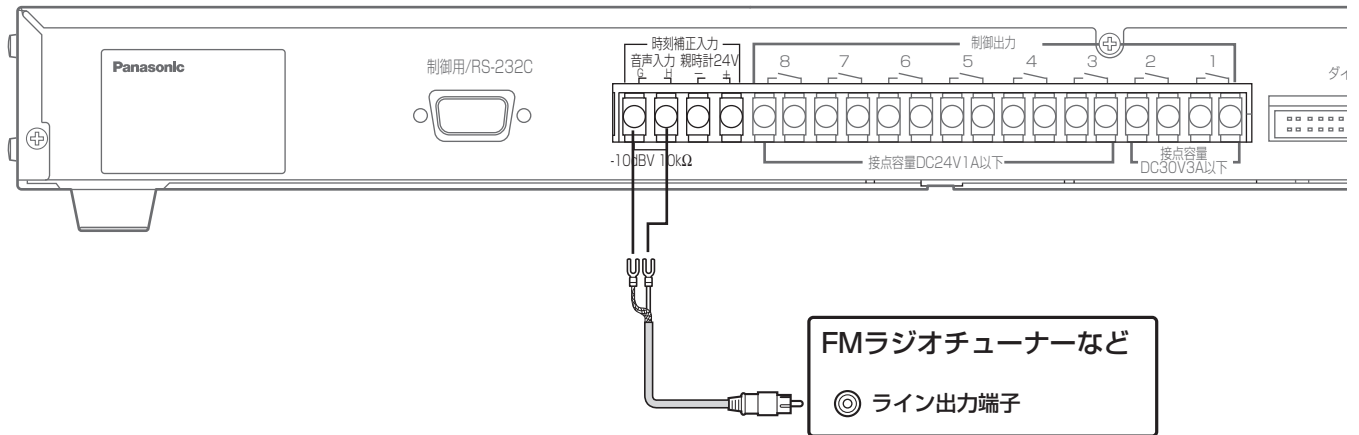
#### メモ

- 1秒式の親時計で本機の時刻補正はできません。30秒式親時計を接続してください。



## ●FMラジオチューナー

FMラジオチューナーの音声出力を接続します。接続のあと時報レベルの設定（19ページ）が必要です。



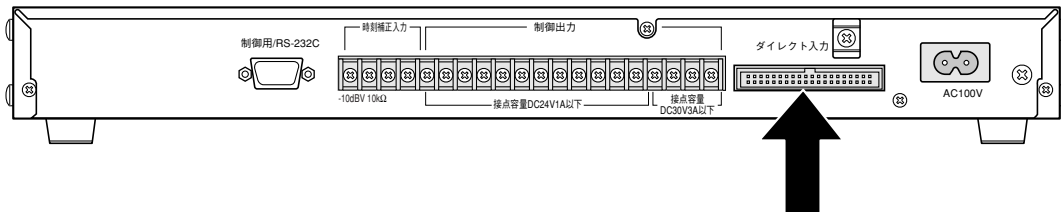
### メモ

- FMラジオチューナーの受信モード（MONO-STEREO）はMONOにしてください。
- FMラジオチューナーに出力ボリュームがあるときは、出力を最大にしてください。
- NHK-FMを正常に受信していることをラジオのスピーカーで確かめてください。
- FMラジオチューナーのスピーカー出力を本機には接続しないでください。故障の原因となります。必ずライン出力をつないでください。

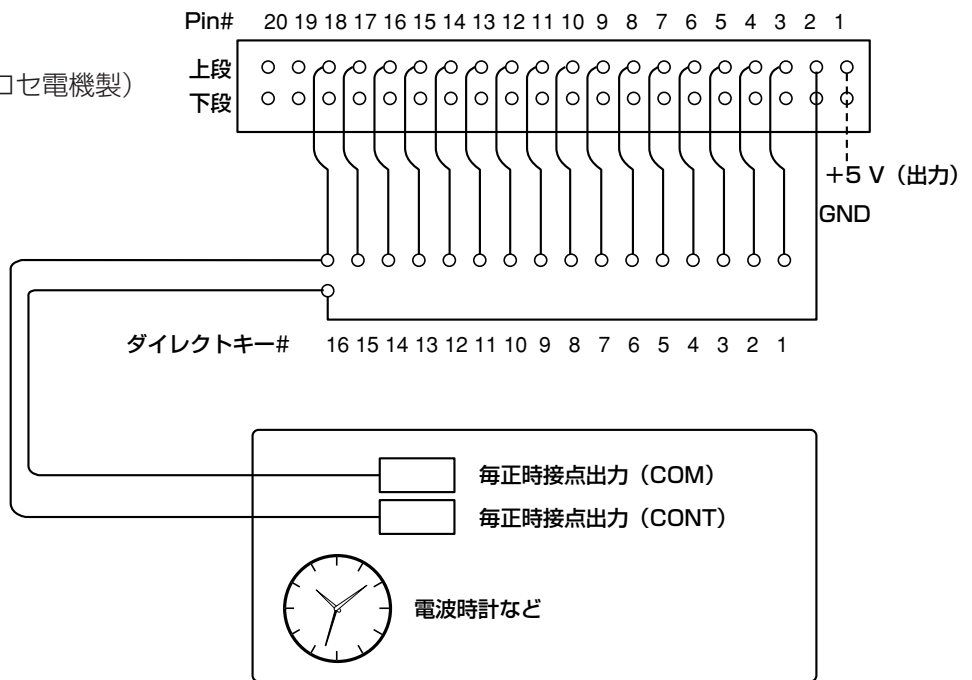
# 接続のしかた (つづき)

## ●メイク接点の接続

毎正時にメイク信号が出力される電波時計などの接点出力を、本機のダイレクトキーの16番目の接点に接続します (ダイレクトキーの接続方法については、53ページを参照してください)。

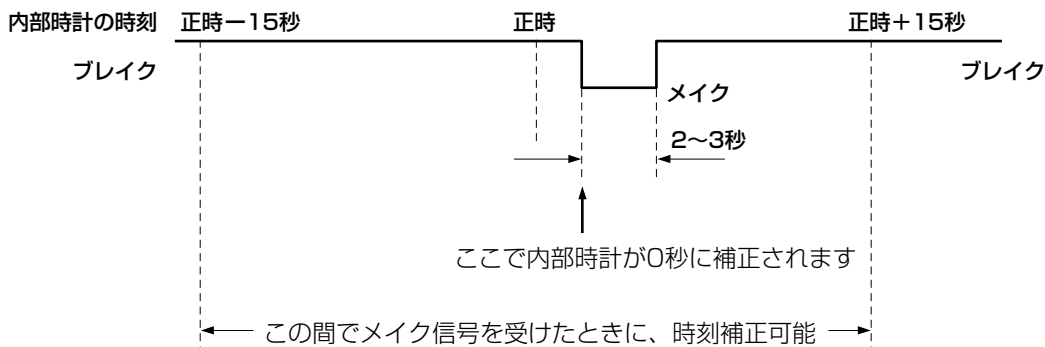


適合コネクタ：  
HIF3BA-40D-2.54R (ヒロセ電機製)  
または相当品



### メモ

- 本機は、7時、13時、19時の±15秒間に、メイク信号を受けることで、内部時計の時刻を補正します。

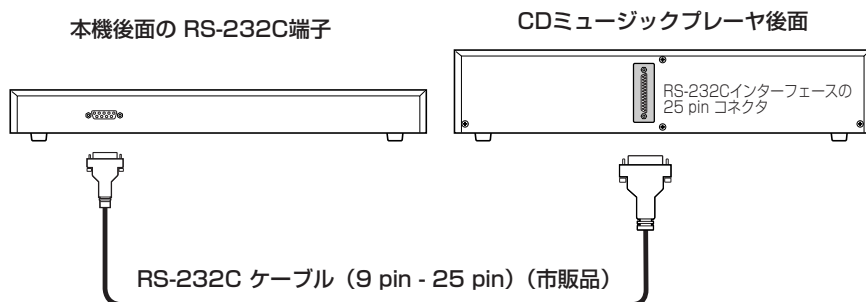


- 正時以外にもメイク信号を出力するような時計の場合、1分に2回以上の出力がないことを確認してください。(内部時計が間違っって補正されてしまいます)
- 上記のように接続したあとで、D16時刻補正の設定が必要です。18ページを参照してください。

# RS-232C用コネクタの接続

## ■CDミュージックプレーヤの場合

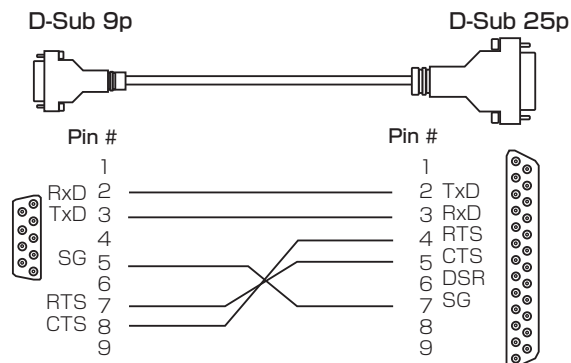
後面パネルのRS-232C用コネクタに232C機能を装備したCDミュージックプレーヤを接続します。プログラムによる制御、機能キーやダイレクトキーによる操作で指定曲を演奏します。



接続ケーブルの仕様を右に示します。

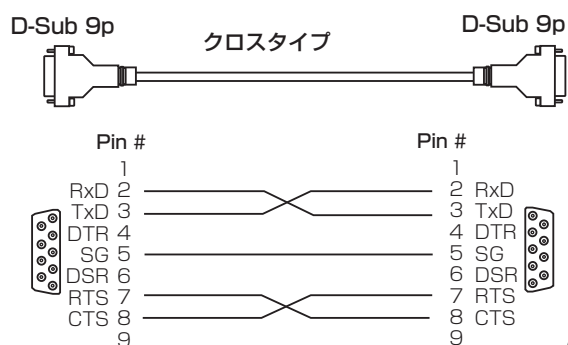
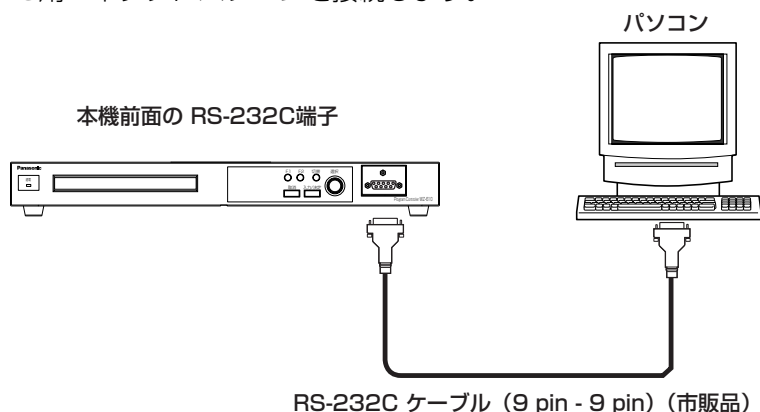
### メモ

- CDミュージックプレーヤ (WB-651またはWB-655) にはRS-232Cインターフェース (WB-Z12) を組み込んで使用します。詳細はそれぞれの説明書をお読みください。
- この制御は1曲指定の再生のみ可能です。
- CDミュージックプレーヤ (WB-655A) は接続できません。



## ■パソコンの場合

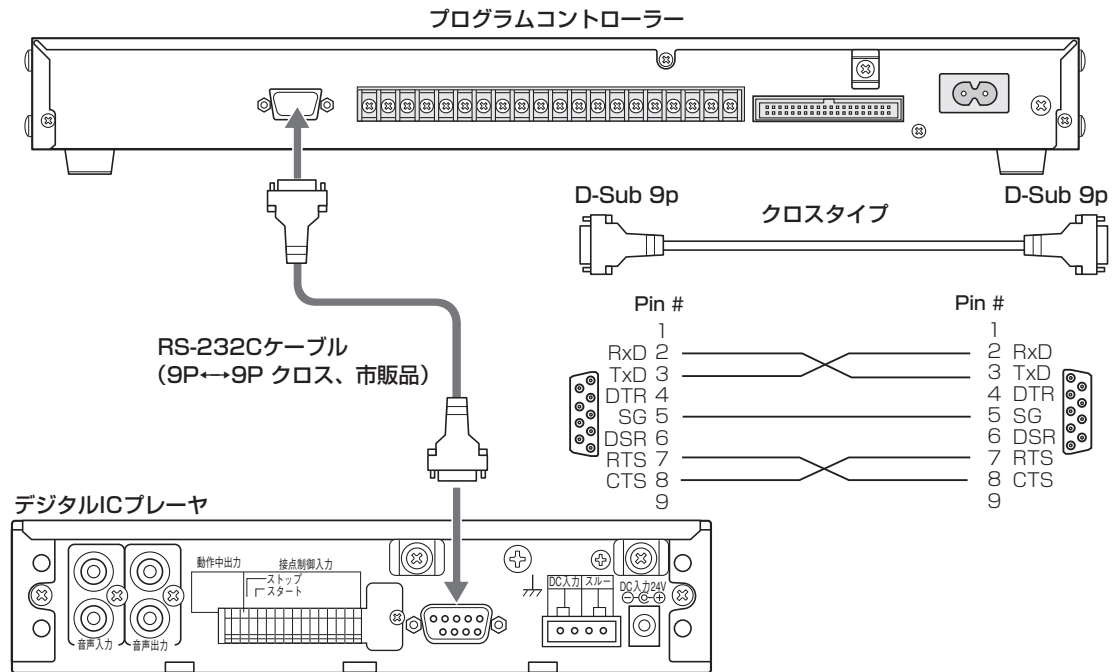
前面パネルのRS-232C用コネクタにパソコンを接続します。



# 接続のしかた (つづき)

## ■デジタルICプレーヤの場合

デジタルICプレーヤ (WZ-DP150、WZ-DP250) のRS-232Cコネクタと本機後面パネルのRS-232C用コネクタを、市販のRS-232Cケーブル (9Pメス→9Pメス、クロス) で接続します。



本機からRS-232Cコマンドを利用して、デジタルICプレーヤのSDメモリーカード内の曲を直接指定して再生できます。本機での設定 (ディスク番号、チャンネル番号、曲番号) は以下のとおりです。

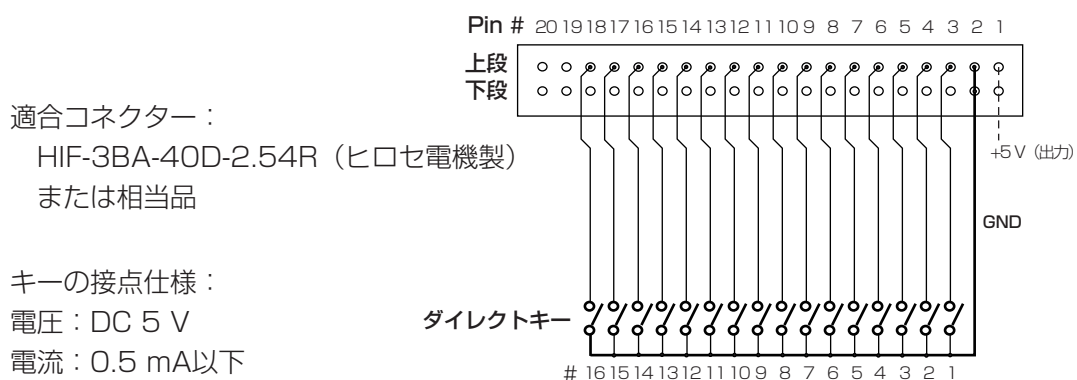
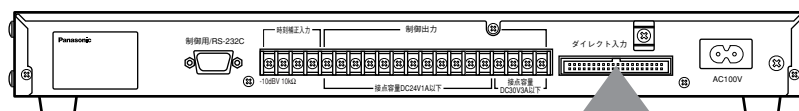
ディスク番号	1	SDメモリーカード A 面の曲を指定します
	2	SDメモリーカード B 面の曲を指定します
	3、4	使用しないでください
	5	デジタル IC プレーヤで設定した組合せメッセージやプログラムメッセージを指定します
チャンネル番号	0	常に「0」に設定してください
	1～8	使用しないでください
曲番号	1～99	曲番号を指定します

### メモ

- 詳細はWZ-DP150、WZ-DP250の取扱説明書をお読みください。

# ダイレクトキーの接続

後面のダイレクトキー端子に現地で製作する最大16個のキーを接続できます。ダイレクトキーはプログラムでCDやアナウンスマシンの演奏をさせる割り付けができます（39ページ）。



## メモ

- 本機はダイレクトキーへのキーロック設定機能（キーを押されても無効にする）を備えておりません。ダイレクトキーの取り扱いに注意が要る場合、スイッチプロテクターなどで機械的な保護をしてください。
- ダイレクトキー#16を使用するときは、D16時刻補正の設定が必要です。18ページをお読みください。

# 故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
電源が入らない	▶ ●電源プラグがACコンセントに確実に接続されていますか？ 接続されているか、確認してください。	—
	▶ ●付属の電源コードが、本機に確実に差し込まれていますか？ 差し込まれているか、確認してください。	44
キーを押しても反応がない	▶ ●キーロックがかかっていませんか？ キーロックを解除してください。	10
FMラジオチューナーによる時刻補正ができない	▶ ●しきい値が高すぎませんか？ しきい値を正しく設定してください。	19
	▶ ●補正範囲を超えていませんか？ 補正範囲が誤差±5秒になるように内部時計を合わせてください。	17
プログラムが実行できない	▶ ●スケジュールにパターンが登録されていますか？ スケジュールにパターンを登録してください。	34
	▶ ●エラー表示が出ていませんか？ エラーメッセージを確認してください。	56
画面上に一定間隔でメッセージが表示される	▶ ●直前に機能キーを押しましたか？ 直前に機能キーを押すと、一定間隔でメッセージが表示されます。異常ではありません。	11
	▶ ●本機に異常が発生しているおそれがあります。 テストプログラムを実行してください。	40
画面が暗く文字が見えにくい	▶ ●バックライトが消灯していませんか？ バックライトの設定を点灯にしてください。	20

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
電源を切ったあと、時計が狂ってしまう	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 内蔵バッテリーの寿命サインが出ていませんか？ 販売店に内蔵バッテリーの交換を相談してください。</li> </ul>	—
電源投入後バックライトが点滅している	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 故障が発生しています。 販売店に修理を依頼してください。</li> </ul>	—
操作中にメッセージが表示される	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 限界を超えた入力をしようとしていませんか？ エラーメッセージを確認してください。</li> </ul>	57
ダイレクトキー#16が動作しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● D16時刻補正の設定が「ダイレクトキー」になっていませんか？ D16時刻補正を「ダイレクトキー」に設定してください。</li> </ul>	18
0秒合わせができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 補正範囲を超えていませんか？ 補正範囲が誤差±15秒になるように内部時計を合わせてください。</li> </ul>	17
電波時計（メイク接点）による時刻補正ができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● D16時刻補正の設定が「ジコクホセイ」になっていませんか？ D16時刻補正を「ジコクホセイ」に設定してください。</li> </ul>	18
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 補正範囲を超えていませんか？ 補正範囲が誤差±15秒になるように内部時計を合わせてください。</li> </ul>	17

### 電源コード・コネクタ・電源プラグは、ときどき点検してください。

症 状	原 因 ・ 対 策
電源コードの被ふくが傷んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源コード・コネクタ・電源プラグが傷んでいます。 そのままの状態を使い続けると、感電や火災の原因になります。 直ちに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。</li> </ul>
使用中、電源コード・コネクタ・電源プラグの一部が熱い	
使用中、電源コードを曲げたり伸ばしたりすると、暖かくなったり、ぬるくなったりする	

# 各種のエラー表示

## ■プログラムのエラー表示

本機は入力されたプログラムが正しいかプログラムを実行する前にチェックをします。エラーが見つかった場合その場所と種類を表示します。

### ●パターン時間重複エラー（画面173）

- ・パターンAからパターンGを通じて、最も早いステップと最も遅いステップは24時間以内でなければなりません。（正確にはリレープログラムでは24時間、プレーヤ演奏プログラムではそれより1分短い23時間59分以内です。）
- ・パターンについての詳細は25-33ページをお読みください。

### ●時刻関係異常エラー（画面174）

- ・リレーOn-Off、ステップの開始時刻と前ステップの終了時刻などが前後した場合表示されます。
- ・プレーヤ演奏プログラムでは一つの演奏開始から次の演奏開始まで1分以上空いていないときもこのエラーとなります。

### ●プレーヤ指定異常エラー（画面175）

- ・ディスク、チャンネル、曲番の指定にエラーがあるとき表示されます。
- ・一つのディスクに対するチャンネル指定が「1～8」と「0」が混在するときも表示されます。

### ●時刻異常エラー（画面176）

- ・36時、60分、60秒を越える時刻データが発生したとき表示されます。
- ・RS-232C通信で発生することがあります。書き込みデータを確認してください。

#### 画面173

メッセージ: パターン 02:00:00 - 26:05:00  
メッセージ: パターンが重複

#### 画面174

メッセージ: パターン A リレー 1 ステップ 37  
メッセージ: ジョク関係異常

#### 画面175

メッセージ: パターン D プレーヤ ステップ 23  
メッセージ: プレーヤ指定異常

#### 画面176

メッセージ: パターン A リレー 1 ステップ 37  
メッセージ: ジョク異常



## ■操作中のエラー表示

プログラムの制限ステップを越えて入力しようとするとき表示されます。

### ●プログラム総ステップ数を越えたとき (画面177)

プログラム入力の総数が4001ステップのとき表示されます。

### ●リレー、プレーヤプログラムが999を越えたとき (画面178)

パターン内のステップ数が1000ステップになると表示されます。

### ●プレーヤ応答プログラムが99ステップを越えたとき (画面179)

100ステップのとき表示されます。

## ■機械のエラー表示

### ●プレーヤエラー (画面180)

プレーヤに何らかの不具合があるとき表示されます。

：RS-232C通信に不具合があるとき

：ケーブルが異常なとき

：プレーヤにエラーが生じたとき

：ディスクの種類や枚数に異常があるとき

### ●バッテリー交換 (画面181)

バックアップバッテリーの寿命が近づいています。早めに販売店に交換を相談してください。

この表示が出てから約2週間程度は電源が遮断されても入力された設定やプログラムは保持されます。

画面177

4001ステップ°イジ°ヨウニユウリヨクテ°キマセン!

OK

画面178

1000 ステップ°イジ°ヨウニユウリヨクテ°キマセン!

OK

画面179

100 ステップ°イジ°ヨウニユウリヨクテ°キマセン!

OK

画面180

2009/03/05 Tue 19:00:25

プレーヤエラー! プレーヤヲ カンシテタサイ。

画面181

2014/03/06 Thu 15:20:57

バックアップ° ハッテリ ヲ コウカンシテタサイ。

# 仕様

## ●基本仕様

電源	AC 100 V 50 Hz/60 Hz
消費電力	4 W
使用温度範囲	0 °C ~ 45 °C
質量	約2.3 kg
寸法	幅420 mm 高さ44 mm (ゴム足含まず) 奥行き229 mm (操作つまみ、後面端子台含まず)
仕上げ	前面パネル：AVライトグレー色塗装 マンセル N8 近似色 日塗工 CN-80 近似色 カバー：AVライトグレー色塗装処理鋼板 マンセル N8 近似色 日塗工 CN-80 近似色

## ●入出力

時刻補正入力	30秒式親時計 ±24 V x1 (ねじ式端子) 外部音声入力 (FMラジオチューナー) -10 dBV 10 kΩ (ねじ式端子)
ダイレクトキー入力	外部に増設の16キー (現地製作) 接続用端子 ダイレクトキー #16は時刻補正とダイレクトキーとの切替 適合コネクタ：40ピン (HIF3BA-40D-2.54Rヒロセ電機または相当品)
通信ポート	RS-232C 前面パネル (D-Sub 9 pin) RS-232C 後面パネル (D-Sub 9 pin)
接点出力	無電圧メイク接点 8 回路 (ねじ式端子)
接点容量	出力 1 , 2 : DC30 V 3 A 以下 出力 3 ~ 8 : DC24 V 1 A 以下
接点出力時間	1 秒~24時間 1秒単位にプログラム可能

## ●プログラム

総ステップ数	4000 ステップ
パターン	パターン数：7パターン (A~G) ステップ数 / パターン：999ステップ / 1 パターン
スケジュール	パターンを各曜日に登録
F1,F2	祭日パターンなど 1 キーに 1 機能割り当て

## ●操作部

表示灯	液晶表示 40文字x2行、バックライト付き 通電表示 LED (緑)
操作子	[選択] ダイアル、[F1] キー、[F2] キー、[切換] キー、[入力/決定] キー、[取消] キー

コピーしてお使いください

# WZ-608 プログラミングチャート A ( 枚中 ページ)

作成日： 年 月 日 作成者：

パターン名登録表	
(平日用、祭日用のように記入)	
パターンA [	]
パターンB [	]
パターンC [	]
パターンD [	]
パターンE [	]
パターンF [	]
パターンG [	]

スケジュール登録表	
(各曜日に設定するパターン記号/名を記入)	
日曜日(Sun) [	]
月曜日(Mon) [	]
火曜日(Tue) [	]
水曜日(Wed) [	]
木曜日(Thu) [	]
金曜日(Fri) [	]
土曜日(Sat) [	]

リレー名登録表	
(接続機器名を記入)	
リレー 1 [	]
リレー 2 [	]
リレー 3 [	]
リレー 4 [	]
リレー 5 [	]
リレー 6 [	]
リレー 7 [	]
リレー 8 [	]

各種の設定登録表	
1-2. D16時刻補正 [	]
1-3. 時報レベルしきい値 [	]
1-3. 時報レベル 縮尺 [	]
1-4. LCDバックライト [	]
1-5. オートスタート [	]
1-7. 演奏スタンバイ [	]

## 機能キー設定表

割付 キー#	なし	リレー		プレーヤ演奏		パターン切換
		On/Off	Tgl	Dsc# - CH# - Sng#	※1	
1		1 2 3 4 5 6 7 8		-	-	A B C D E F G
2		1 2 3 4 5 6 7 8		-	-	A B C D E F G

## ダイレクトキー設定表

割付 キー#	なし	リレー		プレーヤ演奏		パターン切換
		On/Off	Tgl	Dsc# - CH# - Sng#	※1	
1		1 2 3 4 5 6 7 8		-	-	A B C D E F G
2		1 2 3 4 5 6 7 8		-	-	A B C D E F G
3		1 2 3 4 5 6 7 8		-	-	A B C D E F G
4		1 2 3 4 5 6 7 8		-	-	A B C D E F G
5		1 2 3 4 5 6 7 8		-	-	A B C D E F G
6		1 2 3 4 5 6 7 8		-	-	A B C D E F G
7		1 2 3 4 5 6 7 8		-	-	A B C D E F G
8		1 2 3 4 5 6 7 8		-	-	A B C D E F G
9		1 2 3 4 5 6 7 8		-	-	A B C D E F G
10		1 2 3 4 5 6 7 8		-	-	A B C D E F G
11		1 2 3 4 5 6 7 8		-	-	A B C D E F G
12		1 2 3 4 5 6 7 8		-	-	A B C D E F G
13		1 2 3 4 5 6 7 8		-	-	A B C D E F G
14		1 2 3 4 5 6 7 8		-	-	A B C D E F G
15		1 2 3 4 5 6 7 8		-	-	A B C D E F G
16		1 2 3 4 5 6 7 8		-	-	A B C D E F G

※1：Dsc# (ディスク番号)、CH# (チャンネル番号)、Sng# (曲番号)



# 保証とアフターサービス よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ  
などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ  
お申し付けください

## ■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

## ■補修用性能部品の保有期間

当社は、本製品の補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理を依頼される時

54、55ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源を切り、お買い上げの販売店へご連絡ください。

### ●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

### ●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により修理させていただきます。

下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

### ●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

**技術料** は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

**部品代** は、修理に使用した部品および補助材料代です。

**出張料** は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

## ご連絡いただきたい内容

製品名	プログラムコントローラー
品番	WZ-608
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

その他

## 長期間使用に関するお願い

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検をお願いします。

本機を長年お使いの場合、外観上は異常がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、故障したり、事故につながることもあります。

下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？	直ちに使用を中止してください
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 煙が出たり、こげくさいにおいや異常な音がする。</li> <li>● 電源コード・電源プラグ・ACアダプターが異常に熱い。または割れやキズがある。</li> <li>● 製品に触るとビリビリと電気を感じる。</li> <li>● 電源を入れても、映像*や音が出てこない。</li> <li>● その他の異常・故障がある。</li> </ul>	<p>故障や事故防止のため、<b>電源を切り</b>、必ず販売店または施工業者に<b>点検</b>や<b>撤去</b>を依頼してください。</p>

\*映像対応していないモデルもあります。

■当社製品のお買物・取り扱い方法・その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック株式会社 システムお客様ご相談センター

フリーダイヤル

パナハ ヨイワ

**0120-878-410** 受付：9時～18時（土・日・祝日除く）

ホームページからのお問い合わせは <http://panasonic.biz/pss/info>

### ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

便利メモ	お買い上げ日	年	月	日	品番	WZ-608
おぼえのため記入されると便利です	販売店名	電話 ( )	—			

パナソニック株式会社  
システムソリューションズ社

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号